

令和 6 年度  
西成区民アンケート(区民意識調査)  
結果報告書



令和 7 年 2 月  
大阪市西成区役所

# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>P.2</b>
1. 調査の目的 .....	P.2
2. 調査方法 .....	P.2
3. 回収結果 .....	P.2
4. 回答者数と内訳 .....	P.2
5. 調査項目 .....	P.3
6. 報告書の見方 .....	P.3
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>P.4</b>
1. 回答者の属性.....	P.4
2. 広報・魅力発信について.....	P.7
3. 地域活動について .....	P.10
4. 防犯・防災について .....	P.13
5. 子育てについて .....	P.15
6. 福祉について .....	P.20
7. 人権・生涯学習について.....	P.21
8. 西成特区構想について .....	P.24
9. 健康づくりについて .....	P.35
10. 在宅医療について .....	P.45
<b>第3章 参考資料</b> .....	<b>P.51</b>
1. 令和6年度「区政に関する区民アンケート」ご協力のお願ひ .....	P.52
2. アンケート本紙 .....	P.53

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

西成区内に住む区民のニーズや評価を把握することを目的に実施しています。なお、アンケート結果につきましては、今後の施策についての参考情報として活用していきます。

### 2. 調査方法

調査手法 : 調査票を調査対象者に送付し、返信用封筒と回収

調査対象者 : 無作為抽出した18歳以上の西成区民（外国籍住民を含む）1,500名

調査実施期間 : 令和6年12月5日～令和6年12月19日

### 3. 回収結果

配布数	回収数	宛先不明	有効回収数	有効回収率
1500	541	25	541	36.1%

※有効回収数：回収数の内、集計に使用可能なアンケートを有効回収数とする。

### 4. 回答者数と内訳

		男女別				
		合計	男	女	その他	無回答
年代別	合計	541	249	259	9	24
	18・19歳	6	4	2	0	0
	20～29歳	32	13	16	3	0
	30～39歳	41	17	22	2	0
	40～49歳	42	14	27	1	0
	50～59歳	80	31	46	2	1
	60～69歳	94	56	36	0	2
	70～79歳	143	75	56	1	11
	80歳以上	92	36	52	0	4
	無回答	11	3	2	0	6

## 5. 調査項目

1. 回答者の属性	5 問
2. 広報・魅力発信について	3 問
3. 地域活動について	3 問
4. 防犯・防災について	2 問
5. 子育てについて	5 問
6. 福祉について	1 問
7. 人権・生涯学習について	3 問
8. 西成特区構想について	6 問
9. 健康づくりについて	9 問
10. 在宅医療について	6 問

## 6. 報告書の見方

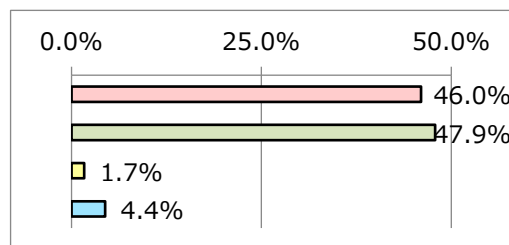
- (1) 質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。また、グラフでは、繁雑さを避けるため、回答がなかった場合の「0.0%」の表記を省略している場合があります。
- (2) 複数回答、無回答分については、属性のクロス集計から除外して算出していますので、クロス集計の回答数の合計と単純集計の全体数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは複数の質問を組み合わせることで集計することにより、性別・年代別などのグループごとの傾向を明らかにするための集計方法です。
- (3) 集計結果は、すべて小数点以下第 4 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (4) 複数回答可の場合、回答者数に対する回答の比率を表しているため、合計値が 100.0%にならないことがあります。
- (5) 図表中の N 数は、その質問に対する回答者数を表します。
- (6) この報告書は、あくまでアンケートの集計結果であり、区民全体の状況を示すものではありません。

## 1. 回答者の属性

### 1-1. 性別

<b>問 30</b>	あなたの性別は？	単一回答
-------------	----------	------

	項目	回答数
1	男性	249
2	女性	259
3	その他・回答したくない	9
4	無回答	24
合計		541



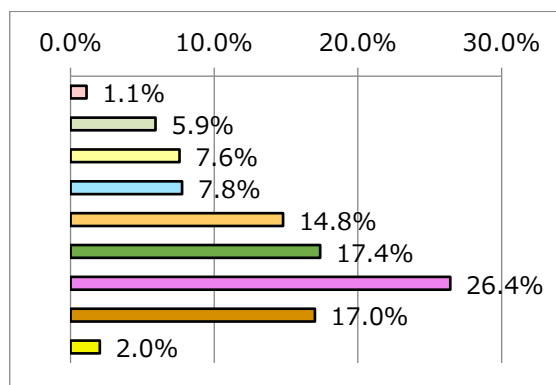
回答総数 541 件のうち、男性 249 件 46.0%、女性 259 件 47.9%と、男性が少し下回る結果となった。

他に、「その他、回答したくない」の選択肢が 1.7%、無回答が 4.4%である。

### 1-2. 回答者の年齢

<b>問 31</b>	あなたの年齢は？	単一回答
-------------	----------	------

	項目	回答数
1	18・19 歳	6
2	20～29 歳	32
3	30～39 歳	41
4	40～49 歳	42
5	50～59 歳	80
6	60～69 歳	94
7	70～79 歳	143
8	80 歳以上	92
9	無回答	11
合計		541



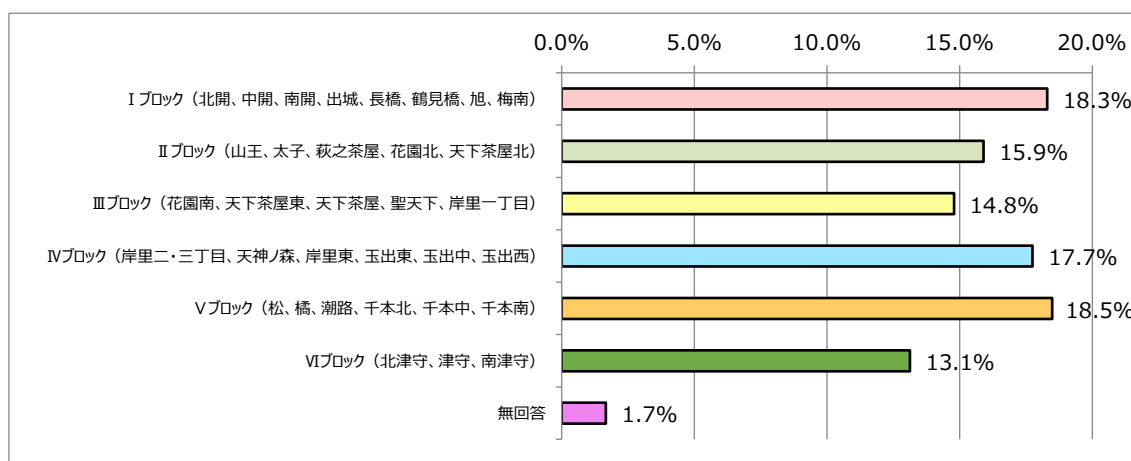
最も多い回答が、70～79 歳で 26.4%、次いで 60～69 歳 17.4%、80 歳以上 17.0%である。

最も少ないのは、18・19 歳の 1.1%、次いで 20～29 歳の 5.9%である。

1-3. 回答者の居住地区

<b>問 32</b>	あなたのお住まいは？	単一回答
-------------	------------	------

	項目	回答数
1	Iブロック（北開、中開、南開、出城、長橋、鶴見橋、旭、梅南）	99
2	IIブロック（山王、太子、萩之茶屋、花園北、天下茶屋北）	86
3	IIIブロック（花園南、天下茶屋東、天下茶屋、聖天下、岸里一丁目）	80
4	IVブロック（岸里二・三丁目、天神ノ森、岸里東、玉出東、玉出中、玉出西）	96
5	Vブロック（松、橘、潮路、千本北、千本中、千本南）	100
6	VIブロック（北津守、津守、南津守）	71
7	無回答	9
合計		541



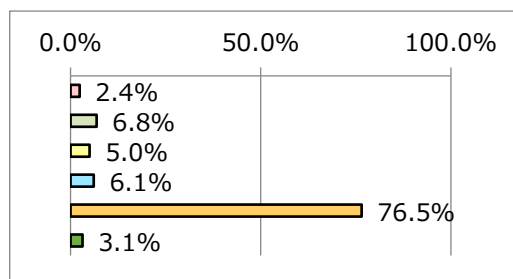
最も多い回答が、Vブロック（松、橘、潮路、千本北、千本中、千本南）で18.5%である。

最も回答が少ないのは、VIブロック（北津守、津守、南津守）の13.1%である。

1-4. 回答者の居住年数

**問 33** あなたは西成区に何年住んでいますか？ 単一回答

	項目	回答数
1	1年未満	13
2	1年以上3年未満	37
3	3年以上5年未満	27
4	5年以上10年未満	33
5	10年以上	414
6	無回答	17
合計		541

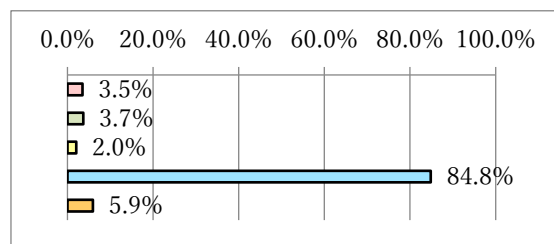


一番多いのが10年以上で76.5%と、7割を占める数となった。最も少ない回答は、1年未満の2.4%である。

1-5. 回答者の子育て状況

**問 34** あなたは現在、中学生以下のお子様の子育てをしていますか？ 複数回答

	項目	回答数
1	している（小学校就学前）	19
2	している（小学生）	20
3	している（中学生）	11
4	していない	459
5	無回答	32
合計		541



子育てをしていない回答者が541件84.8%と、大多数を占める。

最も少ない回答は、中学生の11件2.0%である。

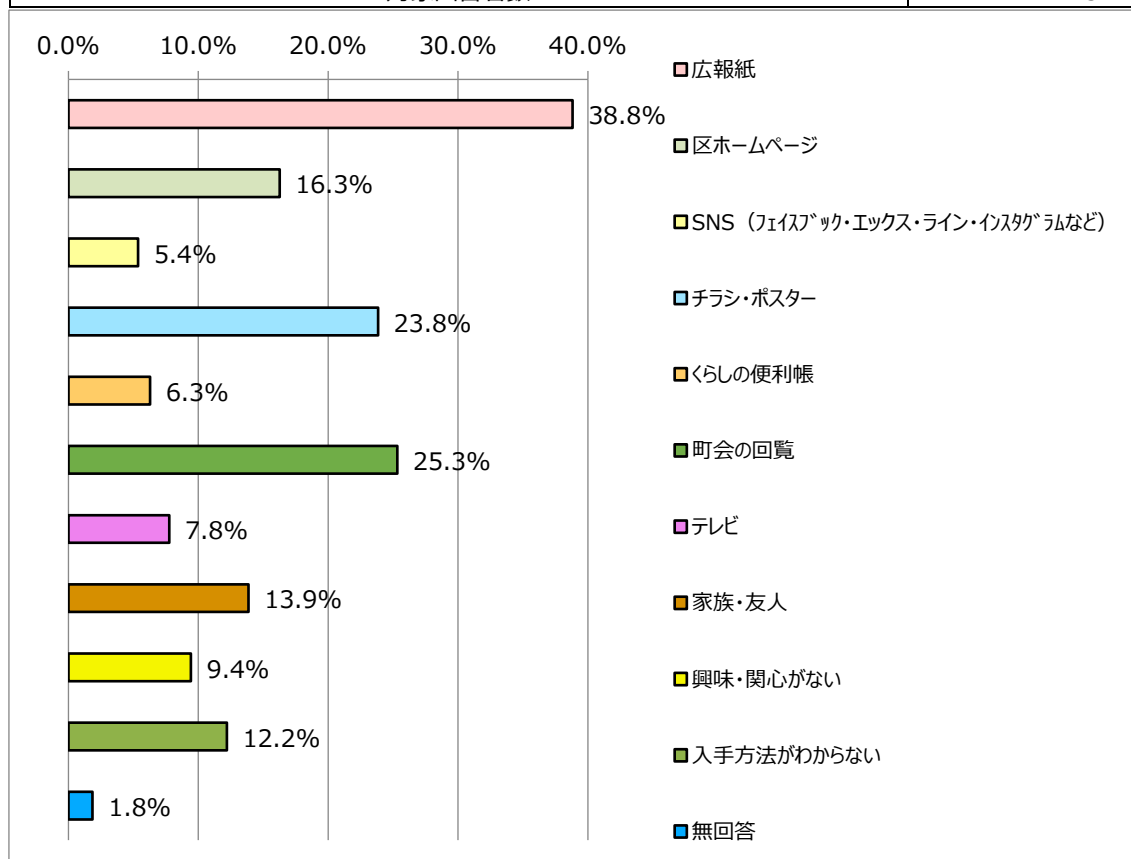
子育てを「している」と答えた回答者の割合は9.2%となった。

## 2. 広報・魅力発信について

### 2-1. 情報の入手先について

**問1** あなたは普段、区役所の情報をどこから入手しますか？（✓はいくつでも） 複数回答

	項目	回答数
1	広報紙	210
2	区ホームページ	88
3	SNS(フェイスブック・エックス・ライン・インスタグラムなど)	29
4	チラシ・ポスター	129
5	くらしの便利帳	34
6	町会の回覧	137
7	テレビ	42
8	家族・友人	75
9	興味・関心がない	51
10	入手方法がわからない	66
11	無回答	10
回答総数		871
対象回答者数		541



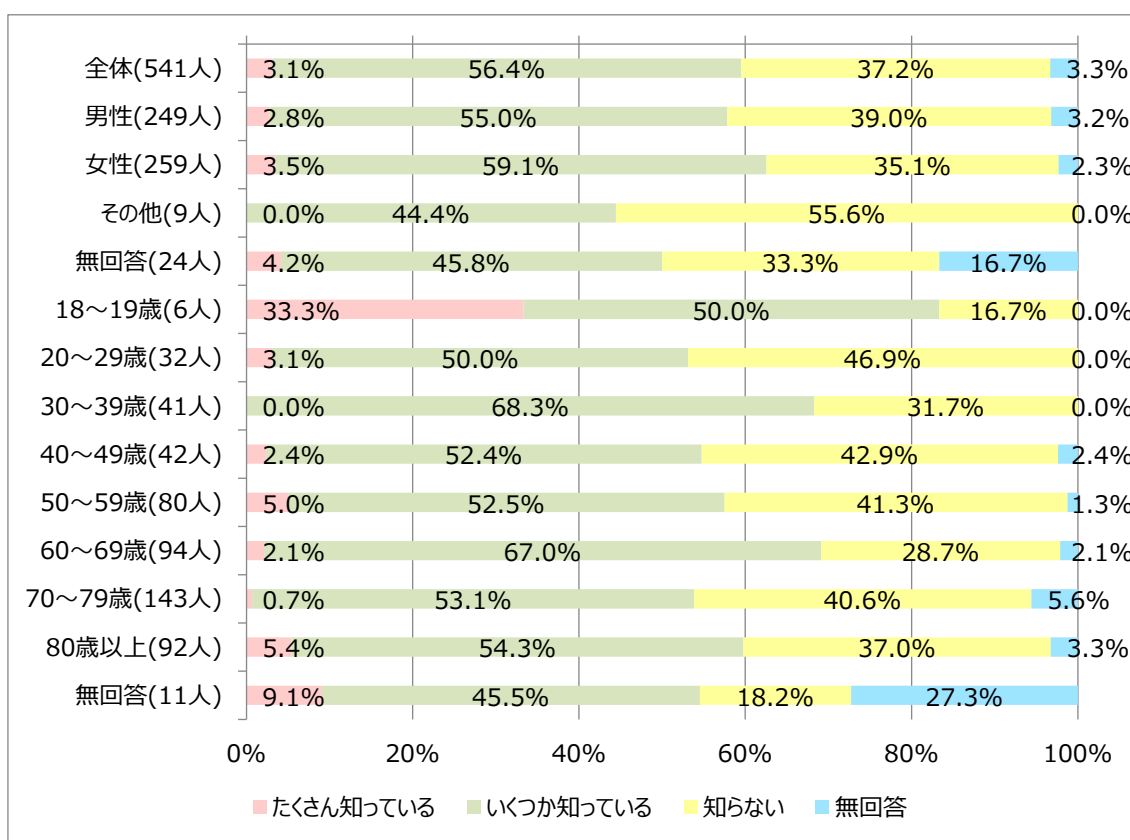
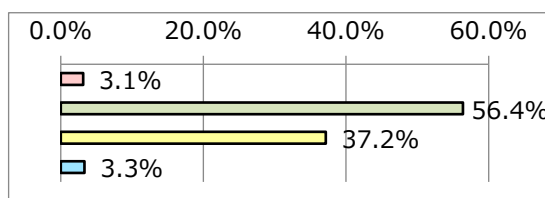
全体で情報の入手先として最も多いものは、区の広報紙 210 件 38.8%、次いで町会の回覧 137 件 25.3%となった。SNS(フェイスブック・エックス・ライン・インスタグラムなど)での情報入手が最も少なく、29 件 5.4%であった。



## 2-2. 西成区の名所について

<b>問2</b>	西成区には、神社やお寺、旧跡、芸術文化に関する施設など、歴史的・文化的な名所がたくさんありますが、あなたはどの程度知っていますか？ また、あなたが区内でおススメする場所・ものがあれば教えてください。	単一回答
-----------	--	------

	項目	回答数
1	たくさん知っている	17
2	いくつか知っている	305
3	知らない	201
4	無回答	18
	合計	541



全体では、「いくつか知っている」が 305 件 56.4%で最も多く、次いで「知らない」が 201 件 37.2%で、“知っている”の割合が半数を超える結果となった。

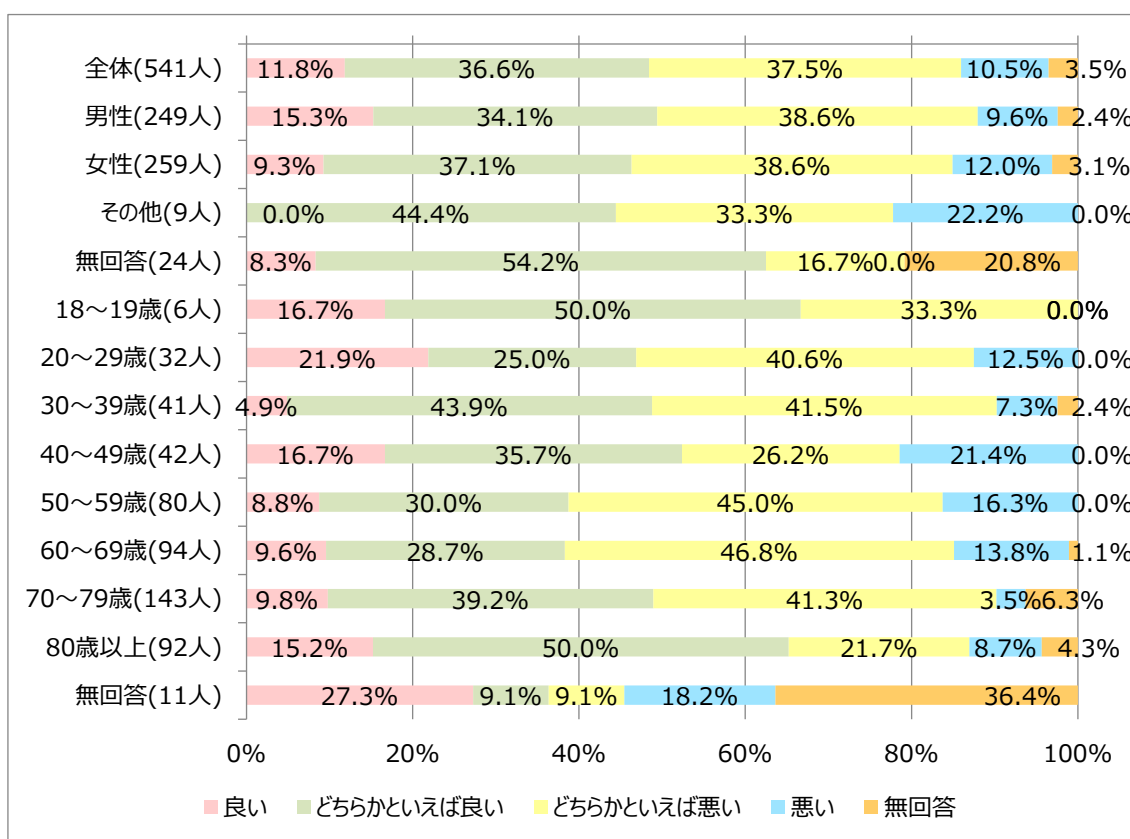
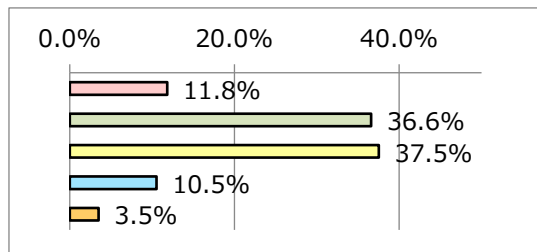
男女別では「たくさん知っている」が男性 2.8%、女性 3.5%、「いくつか知っている」は男性 55.0%、女性 59.1%である。年代別では、「いくつか知っている」の割合が 30 代で最も高く 68.3%、10 代、20 代で最も低く 50.0%である。

自由記述（75 件）によるおススメの場所は、「**生根神社**」の回答が目立ち 29 件、その他主な回答に**津守神社、天神ノ森天満宮、天下茶屋跡、聖天山**などがある。

### 2-3. 西成区に抱くイメージについて

<b>問3</b>	あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか？ また、理由があれば、理由もご記入をお願いします。	単一回答
-----------	---	------

	項目	回答数
1	良い	64
2	どちらかといえば良い	198
3	どちらかといえば悪い	203
4	悪い	57
5	無回答	19
合計		541



全体で最も多い回答が「どちらかといえば悪い」で 203 件 37.5%である。「悪い」と合わせると 260 件 48.0%であり、「どちらかといえば良い」「良い」の合計数 262 件 48.4%でほぼ同数となっている。

男女別では「良い」が男性 15.3%、女性 9.3%、「どちらかといえば良い」は男性 34.1%、女性 37.1%であり、男性の方が「良い」の割合が高くなっている。

年代別では、「良い」「どちらかといえば良い」と答えた割合は 10 代が最も高く 66.7%、60 代が最も低く 38.3%である。

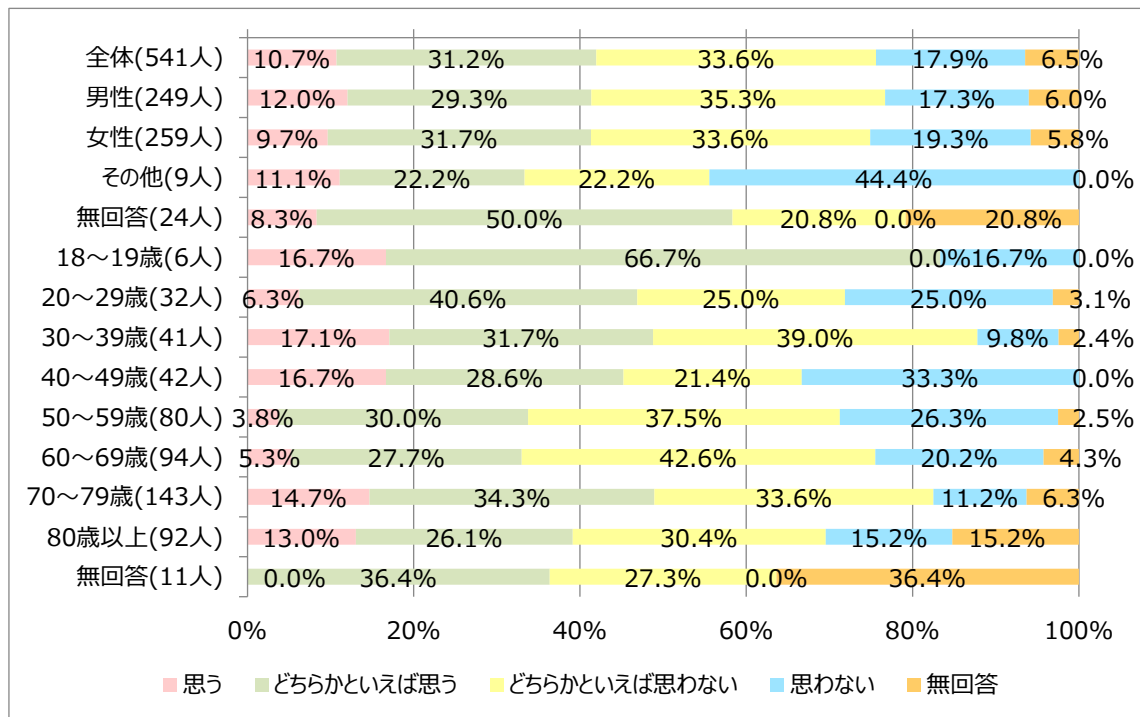
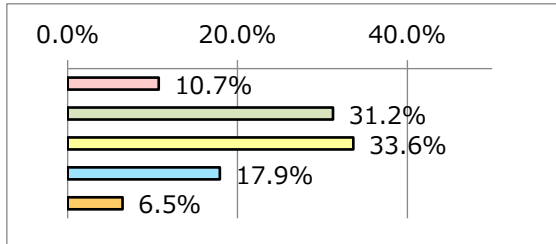
理由の記入では、住みやすい、交通が便利、人情味がある、物価が安いなどがあつた一方、治安が悪い、イメージが悪い、町が汚いなどの意見があつた。

### 3. 地域活動について

#### 3-1. 地域内の見守りや助け合い

<b>問 4</b>	あなたは、身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進んでいると思いますか？ また、理由があれば、理由もご記入をお願いします。	単一回答
------------	--	------

	項目	回答数
1	思う	58
2	どちらかといえば思う	169
3	どちらかといえば思わない	182
4	思わない	97
5	無回答	35
合計		541



全体では「どちらかといえば思わない」の回答が最も多く 33.6%、次いで「どちらかといえば思う」の 31.2% である。

男女別では、「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた割合が男性 41.3%、女性 41.4%と同程度である。

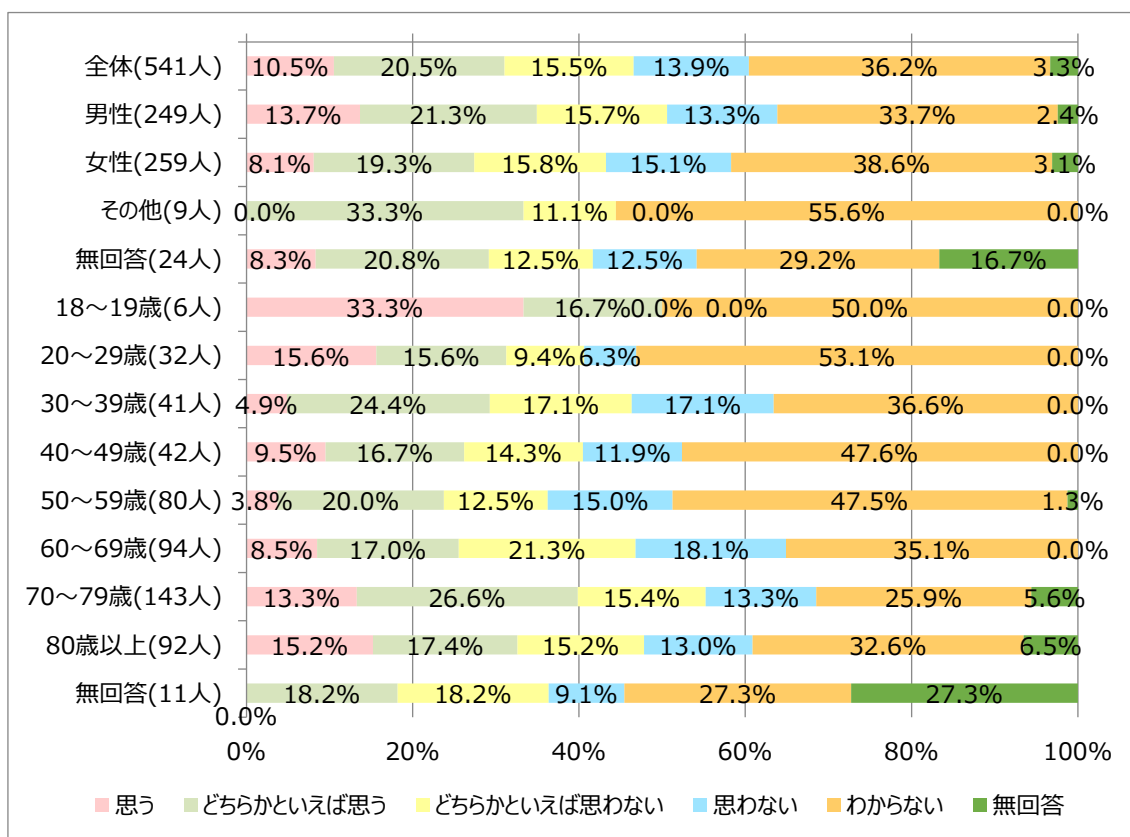
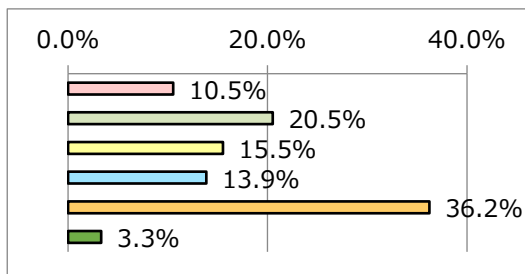
年代別では、10代での「思う」「どちらかといえば思う」の肯定的な回答の割合が 83.4%と全年代で最も高い。

理由の記入では、町会がしっかりしている、よくボランティア活動を目にする、学校が率先して活動しているなどがあった一方、交流がない、空き家が増えている、情報が殆ど入ってこないなどの意見があった。

### 3-2. 区内各団体の連携・協働

<b>問 5</b>	あなたは、地域のまちづくりに関する活動が、地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると思いますか？	単一回答
------------	--	------

	項目	回答数
1	思う	57
2	どちらかといえば思う	111
3	どちらかといえば思わない	84
4	思わない	75
5	わからない	196
6	無回答	18
合計		541



全体では「わからない」の回答が最も多く36.2%、次いで「どちらかといえば思う」の20.5%である。

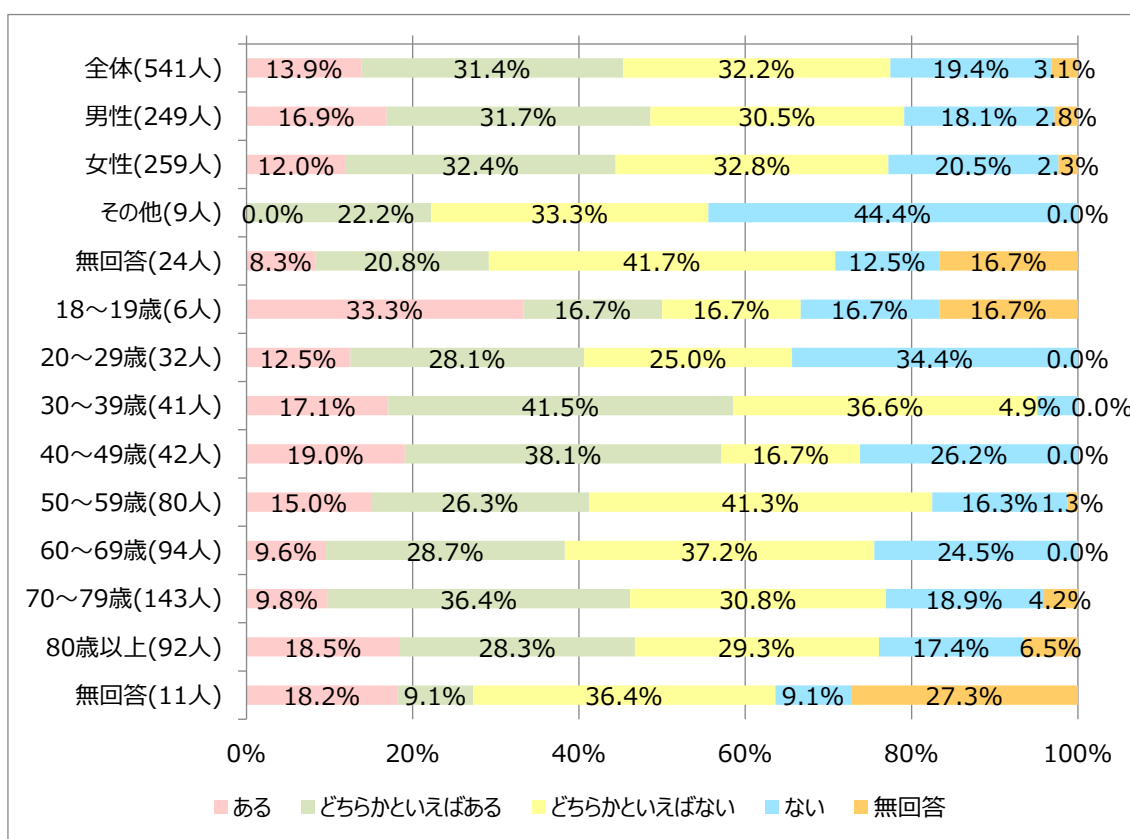
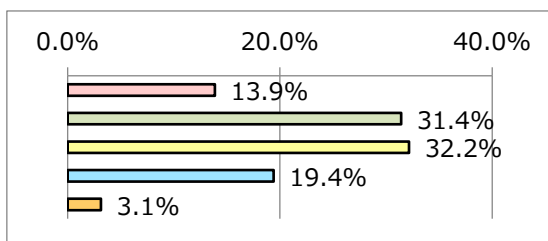
男女別では、「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた割合は男性が高く、「思わない」「どちらかといえば思わない」を合わせた割合は女性が高くなっている。

年代別では、10代での「思う」「どちらかといえば思う」と肯定的な回答の割合が、50.0%と全年代で最も高い。20代での「わからない」の割合が、全年代で最も高く53.1%である。

### 3-3. 地域活動への関心

<b>問 6</b>	あなたは、お住まいの地域で行われる催しもの、事業などの地域活動に関心がありますか？	単一回答
------------	---	------

	項目	回答数
1	ある	75
2	どちらかといえばある	170
3	どちらかといえばない	174
4	ない	105
5	無回答	17
合計		541



全体で最も多い回答は「どちらかといえばない」32.2%、「ない」と合わせると、否定的な回答が 51.6%となる。「ある」「どちらかといえばある」を合わせた結果は 45.3%である。

女性に比べて男性のほうが「ある」「どちらかといえばある」と肯定的な回答をした方の割合が高く 48.6%である。

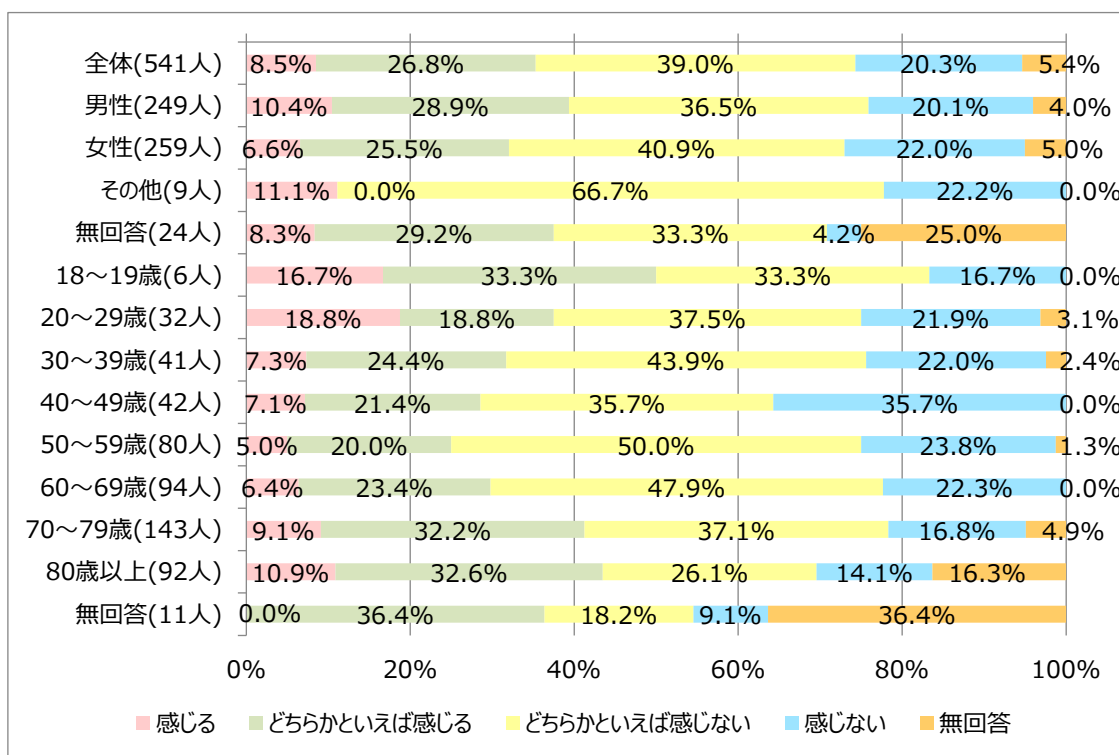
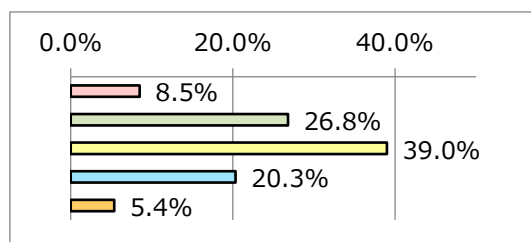
年代別で全体の割合と比較すると、60代で「ある」「どちらかといえばある」の肯定的な割合が 38.3%と最も低く、同じく60代で「どちらかといえばない」「ない」の割合が 61.7%と最も高い。

## 4. 防犯・防災について

### 4-1. 西成区の安全性へのイメージ

<b>問 7</b>	あなたは、西成区は安全安心なまちと感じますか？ また、理由があれば、理由もご記入をお願いします。	単一回答
------------	---	------

	項目	回答数
1	感じる	46
2	どちらかといえば感じる	145
3	どちらかといえば感じない	211
4	感じない	110
5	無回答	29
合計		541



全体で最も回答数が多かったのは「どちらかといえば感じない」で 39.0%、同じく否定的な回答である「感じない」と合わせると 59.3%である。二番目に多い回答は「どちらかといえば感じる」で 26.8%であった。

女性に比べて男性のほうが「感じる」「どちらかといえば感じる」と肯定的な回答をした方の割合が高く、39.3%となっている。

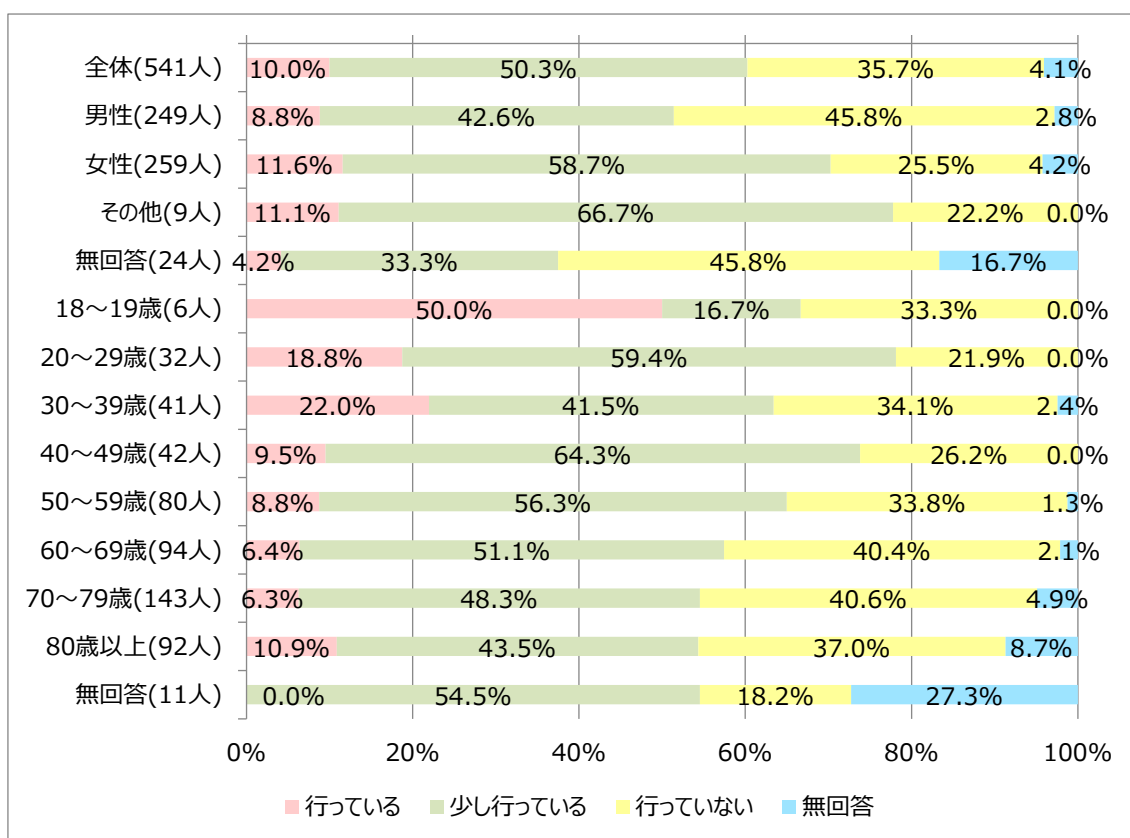
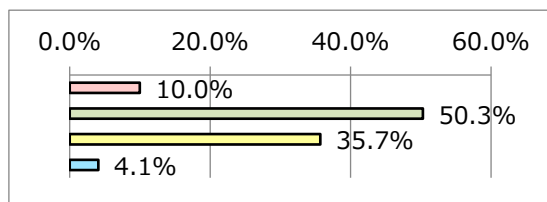
年代別では、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した方の割合が最も低いのは 50代で 25.0%、最も高いのは 10代で 50.0%となった。

理由の記入では、大きな事件が少ない、人助けが多い、地域のつながりが強いなどがあった一方、ゴミのポイ捨てや不法投棄がある、野宿や喧嘩が多い、マナーが悪い人が多いなどの意見もあった。

#### 4-2. 地域住民の災害への備え

**問 8** あなたは、備蓄や避難所の確認など、災害に対する備えを行っていますか？ 単一回答

	項目	回答数
1	行っている	54
2	少し行っている	272
3	行っていない	193
4	無回答	22
合計		541



「行っている」「少し行っている」と答えた方の割合が全体で 60.3%、「行っていない」と答えた方は 35.7%と、行っている回答者のほうが多い結果となった。

男女別では「行っている」「少し行っている」の割合が男性 51.4%、女性 70.3%と、女性のほうが災害に対する備えを多く行っていることが分かる。

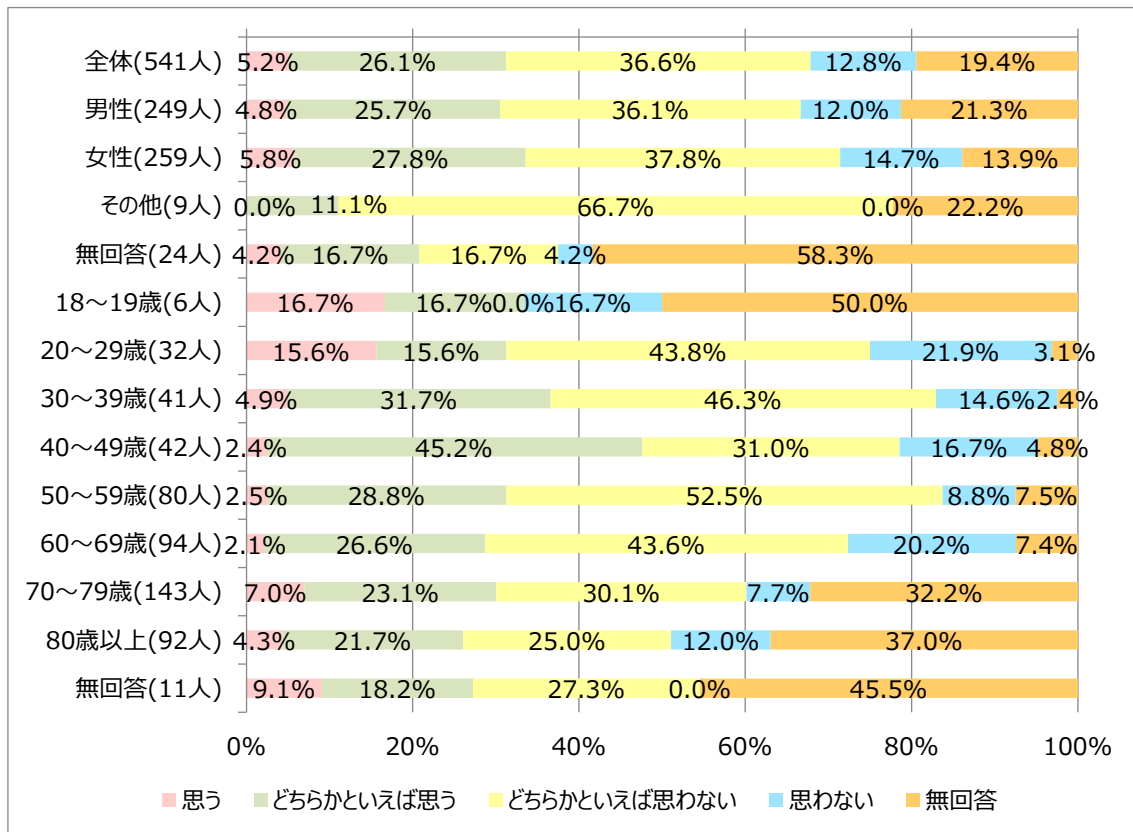
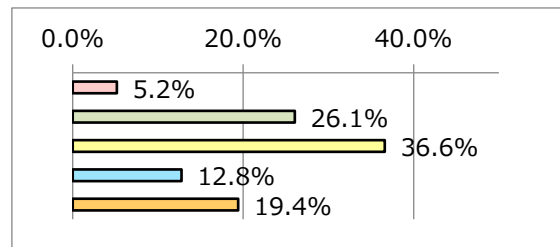
年代別で最も「行っている」「少し行っている」の割合が高いのは 20 代の 78.2%、最も低いのは 80 代以上の 54.4%であった。

## 5. 子育てについて

### 5-1. 西成区の子育て環境

<b>問9</b>	あなたは、西成区は安心して子育てができる環境が充実していると思いますか？	単一回答
-----------	--------------------------------------	------

	項目	回答数
1	思う	28
2	どちらかといえば思う	141
3	どちらかといえば思わない	198
4	思わない	69
5	無回答	105
合計		541



全体で最も多かった回答は「どちらかといえば思わない」で 36.6%、次いで「どちらかといえば思う」の 26.1% である。

「思う」「どちらかといえば思う」の割合は、男女別では女性が 33.6%と男性の 30.5%より高く、年代では 40代が 47.6%と最も高かった。

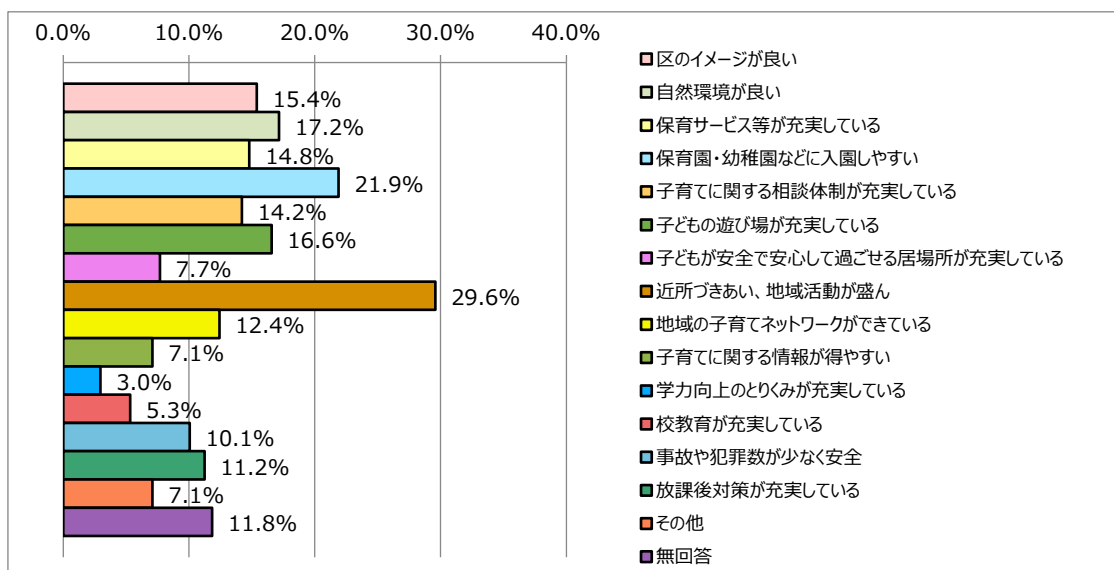


## 5-2. 安心して子育てできる理由

<b>問 9-1</b>	問9に「1」「2」と答えた方にお聞きます。 その理由は次のうちどれですか？	複数回答
--------------	--	------

	項目	回答数
1	区のイメージが良い	26
2	自然環境が良い	29
3	保育サービス等が充実している	25
4	保育園・幼稚園などに入園しやすい	37
5	子育てに関する相談体制が充実している	24
6	子どもの遊び場が充実している	28
7	子どもが安全で安心して過ごせる居場所が充実している	13
8	近所づきあい、地域活動が盛ん	50
9	地域の子育てネットワークができています	21
10	子育てに関する情報が得やすい	12
11	学力向上のとりくみが充実している	5
12	学校教育が充実している	9
13	事故や犯罪数が少なく安全	17
14	放課後対策が充実している	19
15	その他	12
16	無回答	20
回答総数		347
対象回答者数		169

※対象回答者…問9で「1」「2」と答えた回答者の回答



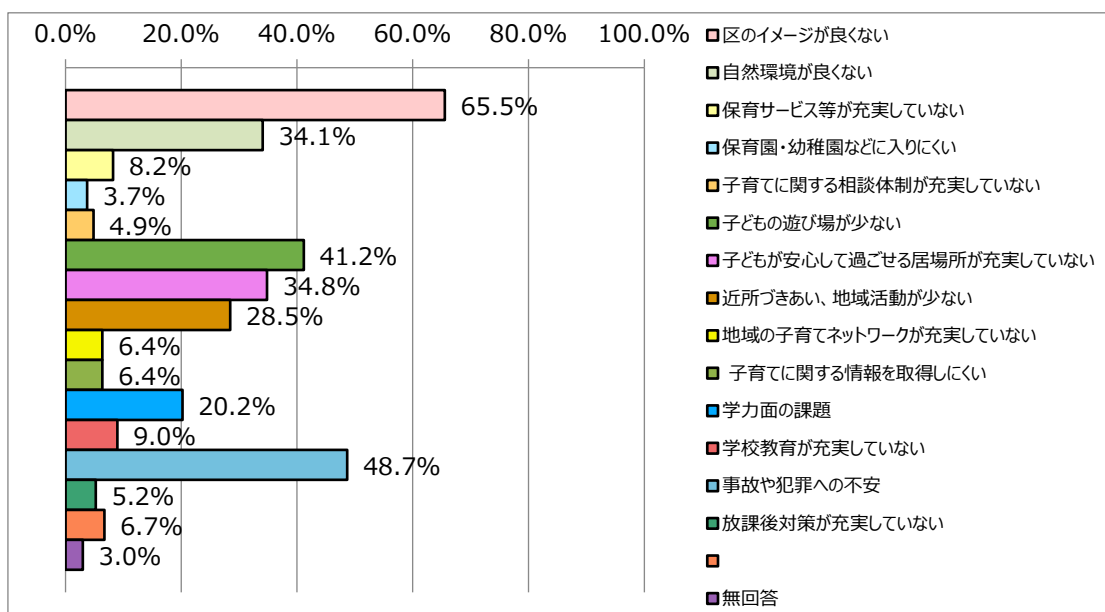
最も多い回答は「近所づきあい、地域活動が盛ん」で 50 件であり、これは対象回答者数の 29.6%である。「保育園・幼稚園などに入園しやすい」「保育サービス等が充実している」など幼稚園以下のお子様に関する内容は 10%台後半～20%ほどあり、小学生以上のお子様に関する「学力向上のとりくみが充実している」「学校教育が充実している」は 10%を下回っている。「その他」の回答には「良い方が多い」「住みやすい」などがあった。

### 5-3. 安心して子育てできない理由

<b>問 9-2</b>	問9に「3」「4」と答えた方にお聞きます。 その理由は次のうちどれですか？	複数回答
--------------	--	------

	項目	回答数
1	区のイメージが良くない	175
2	自然環境が良くない	91
3	保育サービス等が充実していない	22
4	保育園・幼稚園などに入りにくい	10
5	子育てに関する相談体制が充実していない	13
6	子どもの遊び場が少ない	110
7	子どもが安心して過ごせる居場所が充実していない	93
8	近所づきあい、地域活動が少ない	76
9	地域の子育てネットワークが充実していない	17
10	子育てに関する情報が取得しにくい	17
11	学力面の課題	54
12	学校教育が充実していない	24
13	事故や犯罪への不安	130
14	放課後対策が充実していない	14
15	その他	18
16	無回答	8
回答総数		872
対象回答者数		267

※対象回答者…問 11 で「3」「4」と答えた回答者の回答



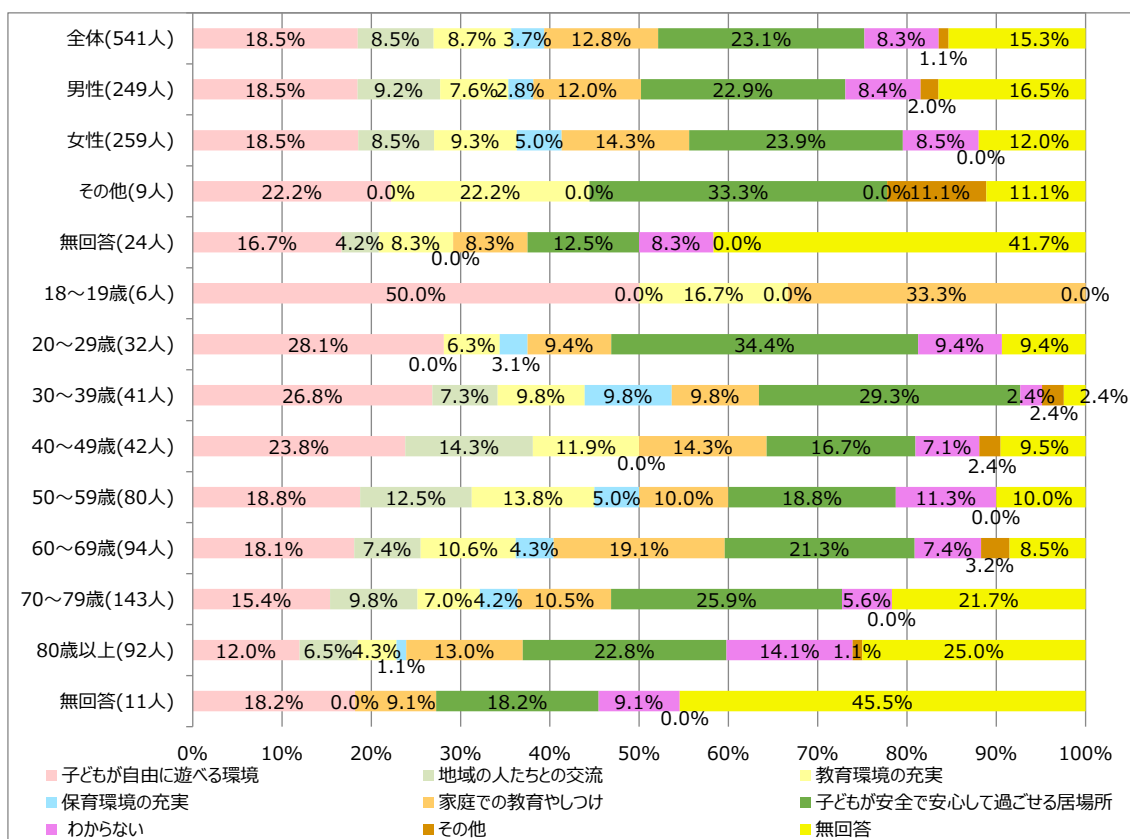
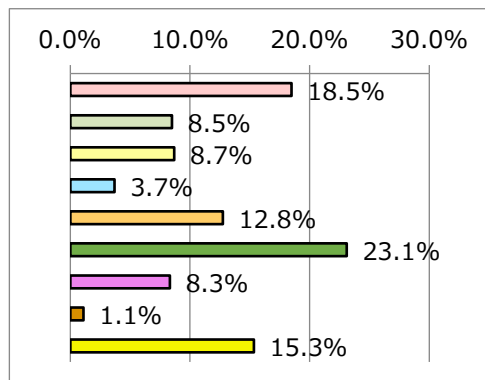
最も多い回答は「区のイメージが良くない」で 175 件 65.5%、次いで「事故や犯罪への不安」130 件 48.7%、三番目が「子供の遊び場が少ない」で 110 件 41.2%、最も少ない回答は「保育園・幼稚園などに入りにくい」10 件 3.7%である。

「その他」の回答には「貧困世帯が多い」「外国人が多い」などがあつた。

5-4. 健やかな子育てに必要なこと

<b>問 10</b>	あなたは、子どもたちを健やかに育てるために最も必要なことは次のうちどれだと思いますか？	単一回答
-------------	---	------

	項目	回答数
1	子どもが自由に遊べる環境	100
2	地域の人たちとの交流	46
3	教育環境の充実	47
4	保育環境の充実	20
5	家庭での教育やしつけ	69
6	子どもが安全で安心して過ごせる居場所	125
7	わからない	45
8	その他	6
9	無回答	83
合計		541

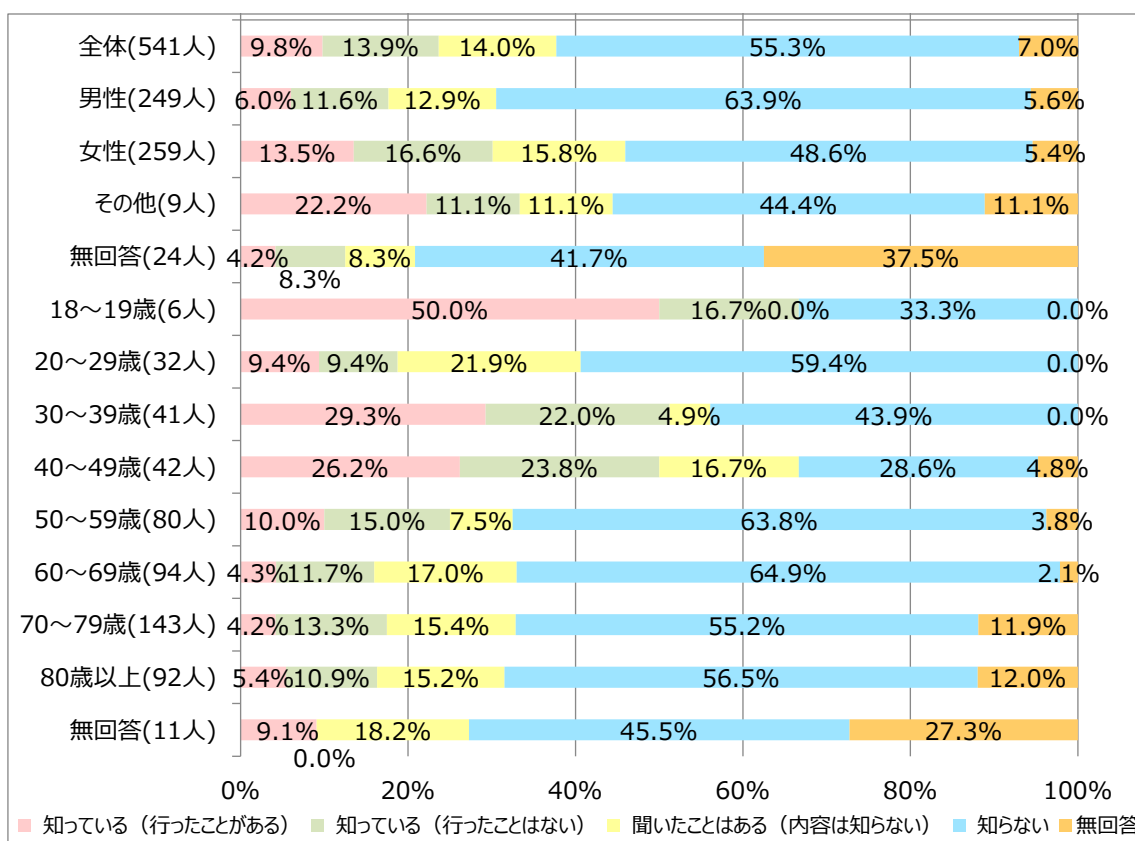
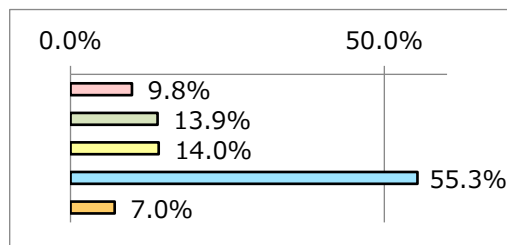


全体で最も多い回答は「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」23.1%、次いで「子どもが自由に遊べる環境」18.5%である。男女別では、男性は「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が最も高く22.9%であり、女性も同様に「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が23.9%と最も高い結果となった。

5-5. 子どもたちの遊び場の状況

<b>問 11</b>	プレーパーク（ジャガピーパーク）（※）を知っていますか？（✓は一つだけ）※プレーパーク（ジャガピーパーク）とは、区内のもと小学校や公園などで実施している子どもの遊び場です。	単一回答
-------------	--	------

	項目	回答数
1	知っている（行ったことがある）	53
2	知っている（行ったことはない）	75
3	聞いたことはある（内容は知らない）	76
4	知らない	299
5	無回答	38
合計		541



全体で「知らない」の回答が最も多く 55.3%と、認知度が低い結果となった。「知っている(行ったことがある)」は 9.8%であり、「知っている(行ったことはない)」「聞いたことはある」は合わせて 27.9%である。

男女別では、女性が「知っている」「聞いたことはある」45.9%と男性の 30.5%より割合が高い。

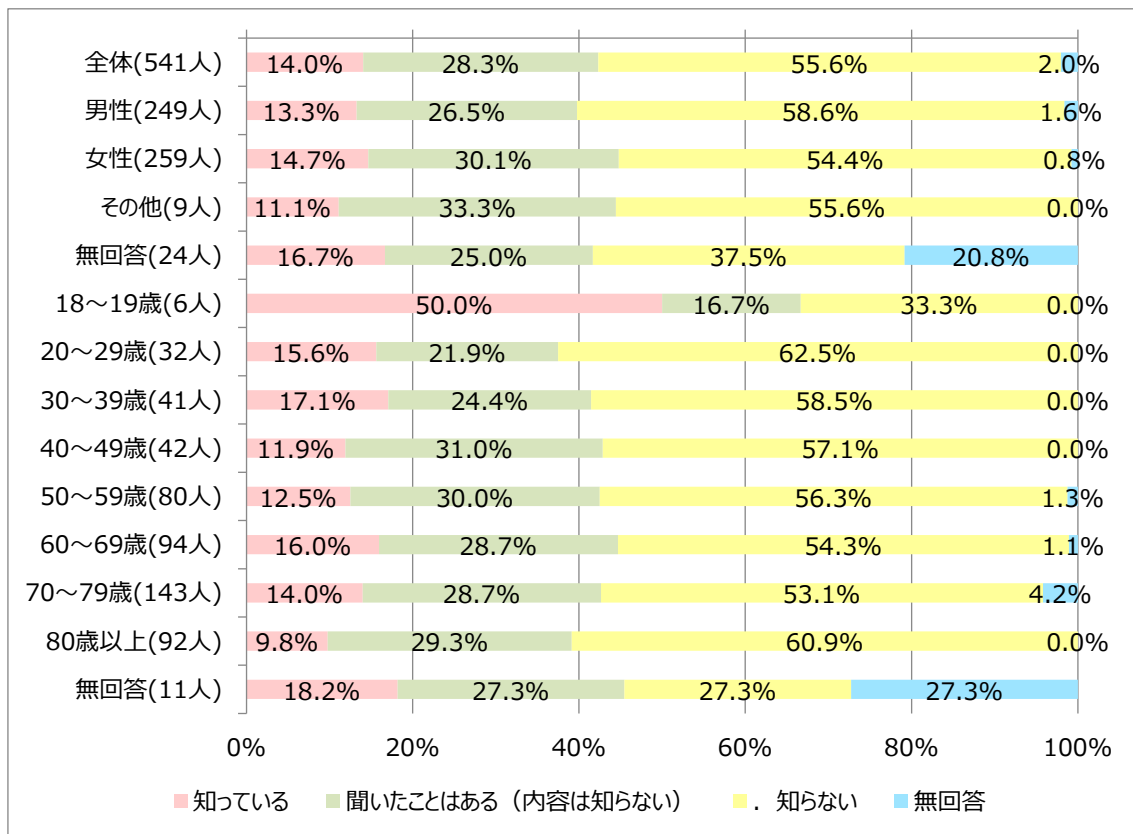
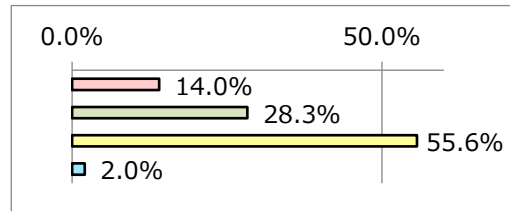
年代別では「知っている」「聞いたことはある」の割合が最も高いのは 10 代と 40 代で 66.7%、最も低いのは 80 代以上で 31.5%である。

## 6. 福祉について

### 6-1. 障害者差別解消法の認知度

<b>問 12</b>	障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をめざして、障害者差別解消法（※）が、平成 28 年 4 月 1 日から施行されました。あなたは、この法律を知っていますか？	単一回答
-------------	--	------

	項目	回答数
1	知っている	76
2	聞いたことはある（内容は知らない）	153
3	知らない	301
4	無回答	11
合計		541



全体で「知らない」の回答が最も多く 55.6%であり、「知っている」の回答は最も少なく 14.0%であり、認知度が低い結果となった。

男女別では、「知っている」「聞いたことはある」の回答が男性は 39.8%、女性が 44.8%と女性の方が認知度が高い結果となった。

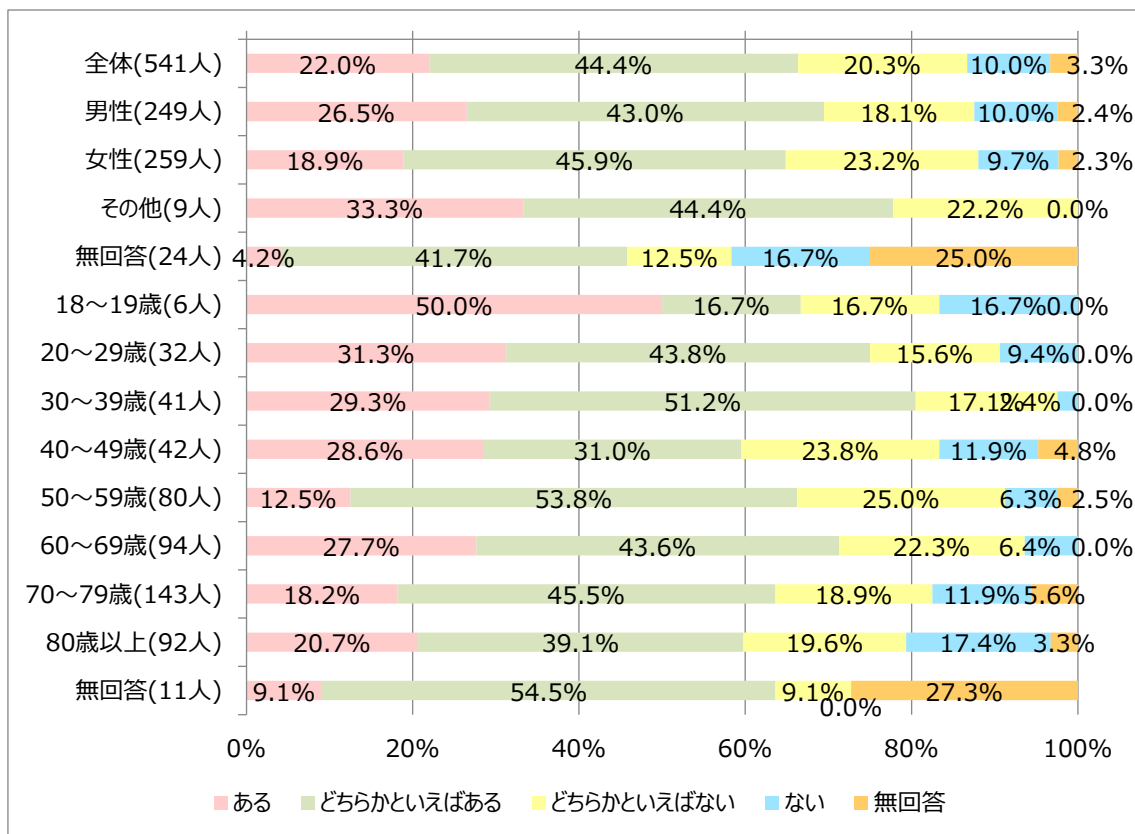
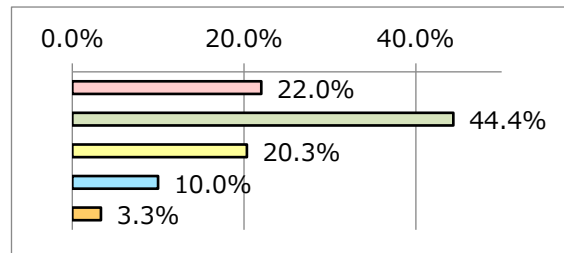
年代別では「知っている」「聞いたことはある」の割合が最も高いのは 10 代で 66.7%、最も低いのは 20 代で 37.5%である。

## 7. 人権・生涯学習について

### 7-1. 人権への関心

<b>問 13</b>	あなたは、人権について関心がありますか？	単一回答
-------------	----------------------	------

	項目	回答数
1	ある	119
2	どちらかといえばある	240
3	どちらかといえばない	110
4	ない	54
5	無回答	18
合計		541



全体では「どちらかといえばある」が最も多く 44.4%で、「ある」の 22.0%と合わせると 66.4%である。「どちらかといえばない」20.3%と「ない」10.0%を合わせると 30.3%である。

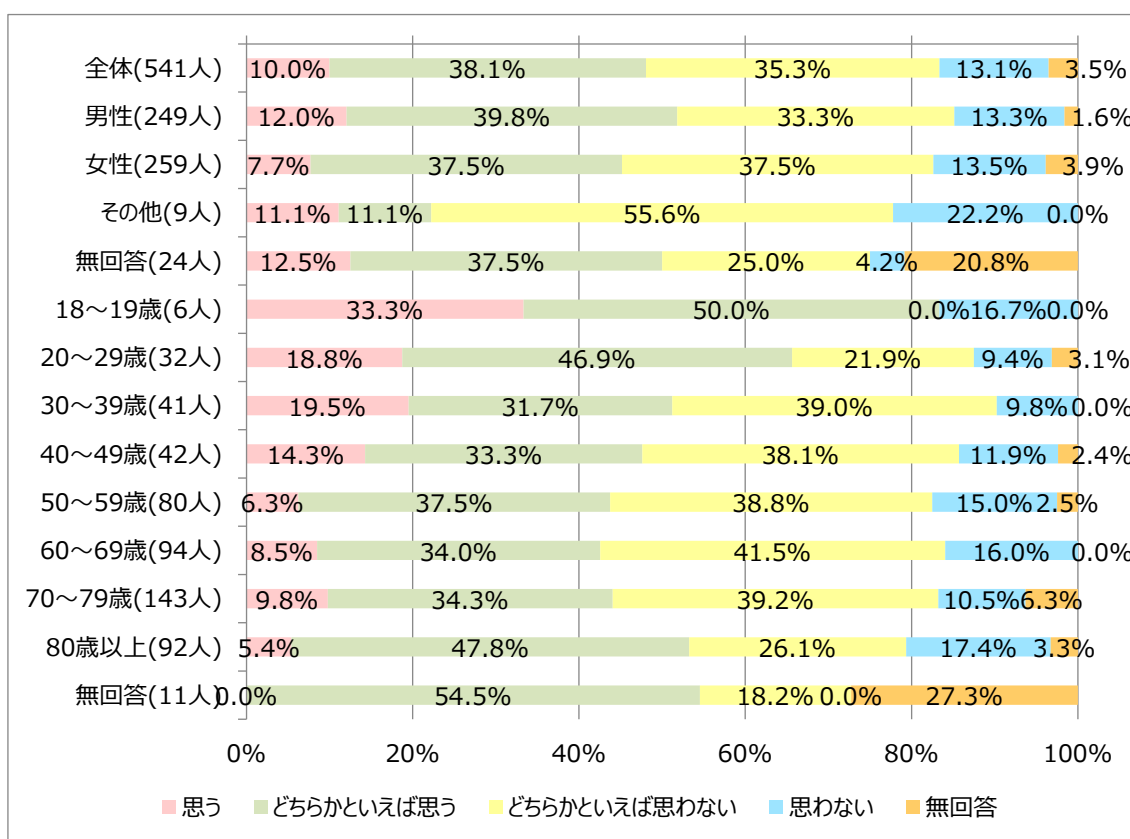
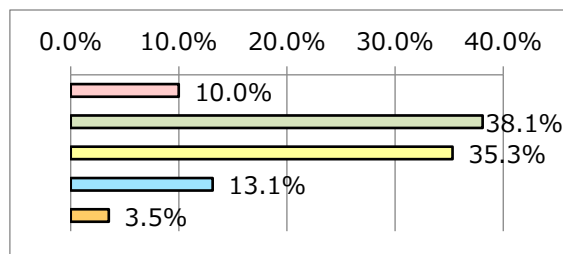
男性は「ある」「どちらかといえばある」と答えた方が 69.5%、女性は 64.8%となった。

年代別では、「ある」「どちらかといえばある」と答えた方は 30代が一番多く 80.5%、40代が一番少なく 59.6%であった。

7-2. 人権尊重のまちについて

<b>問 14</b>	あなたは、西成区が一人ひとりの人権が尊重されているまちであると思いますか？	単一回答
-------------	---------------------------------------	------

	項目	回答数
1	思う	54
2	どちらかといえば思う	206
3	どちらかといえば思わない	191
4	思わない	71
5	無回答	19
合計		541



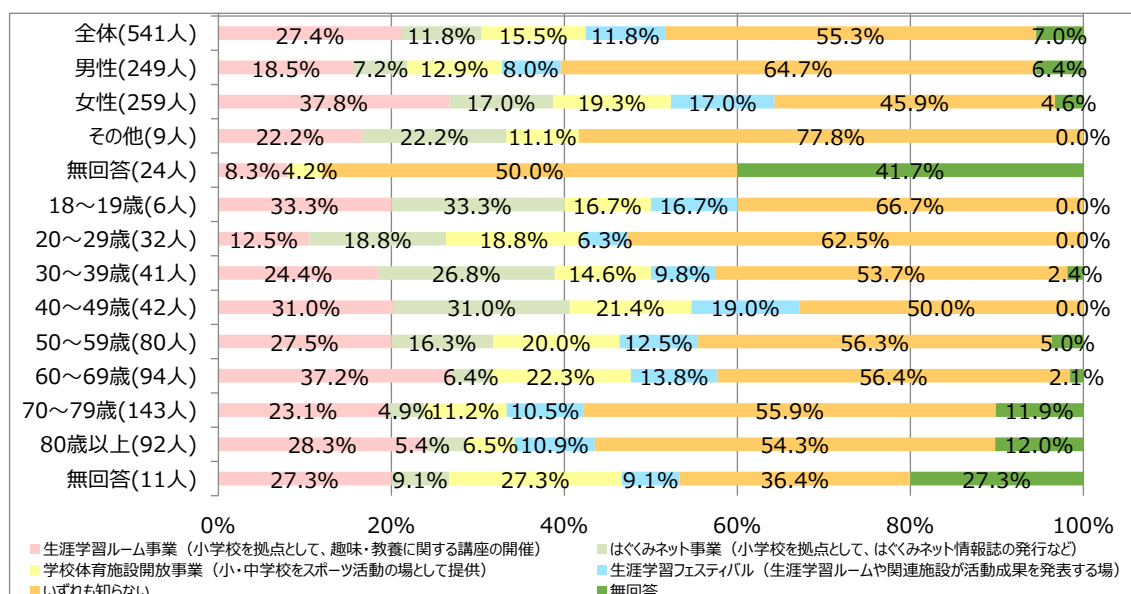
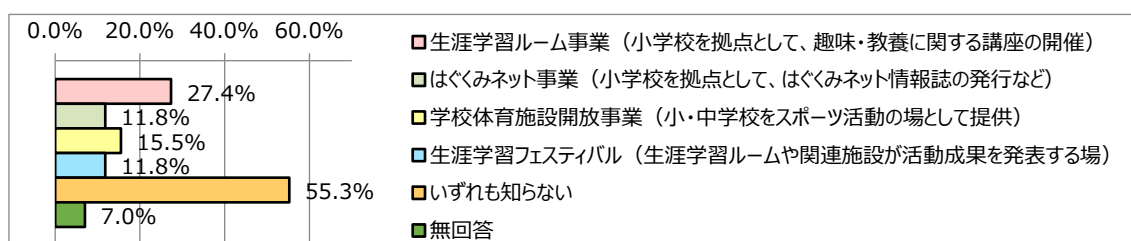
全体で最も多い回答は「どちらかといえば思う」で 38.1%、「思う」と合わせると 48.1%である。「どちらかといえば思わない」35.3%と「思わない」13.1%を合わせると 48.4%である。

「思う」「どちらかといえば思う」の割合は、男女別では、男性が 51.8%、女性が 45.2%であり、男性の方が高い結果となった。年代別では 10 代が 83.3%と最も高く、60 代が 42.5%で年代別で最も低い。

7-3. 区内の生涯学習事業の認知度

**問 15** 区内の生涯学習事業のうち、あなたが知っているものはありますか？ 複数回答

	項目	回答数
1	生涯学習ルーム事業（小学校を拠点として、趣味・教養に関する講座の開催）	148
2	はぐみネット事業（小学校を拠点として、はぐみネット情報誌の発行など）	64
3	学校体育施設開放事業（小・中学校をスポーツ活動の場として提供）	84
4	生涯学習フェスティバル（生涯学習ルームや関連施設が活動成果を発表する場）	64
5	いずれも知らない	299
6	無回答	38
回答総数		697
対象回答者数		541



最も多かった回答は「いずれも知らない」の 299 件で、半数を越える 55.3%である。「いずれも知らない」以外の回答の中で最も認知度が高いのは「生涯学習ルーム事業」で 148 件 27.4%である。

男女別に「いずれも知らない」以外の回答をみると、「生涯学習ルーム事業」が男性 18.5%、女性 37.8% どちらも最も高い。

年代別に「生涯学習ルーム事業」の回答を見ると、60代が最も高く 37.2%、次いで 10代が 33.3%である。

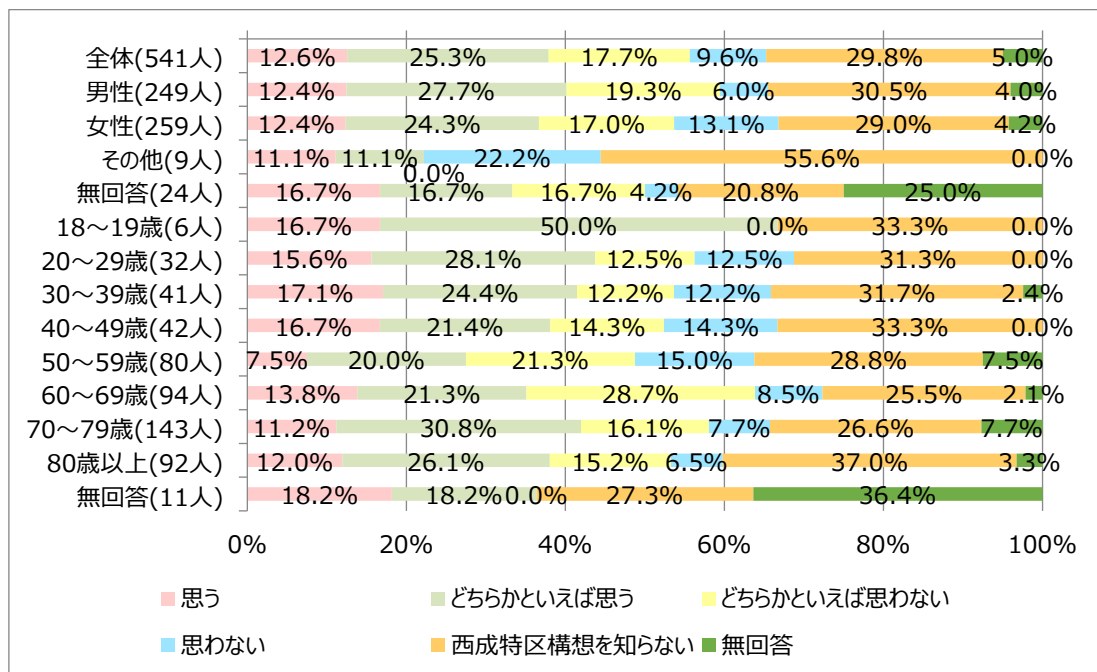
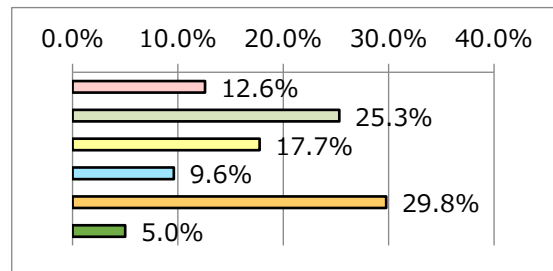


## 8. 西成特区構想について

### 8-1. 西成特区構想の効果

<b>問 16</b>	あなたは、西成特区構想（※）が実施されてから、西成区は良くなったと思いますか？	単一回答
	（※）西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えていますが、それらを解決するために、平成 25 年（2013 年）度から特に有効な施策を検討し実施・推進しています。	

	項目	回答数
1	思う	68
2	どちらかといえば思う	137
3	どちらかといえば思わない	96
4	思わない	52
5	西成特区構想を知らない	161
6	無回答	27
合計		541



全体では「西成特区構想を知らない」29.8%が最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が25.3%、「思う」と合わせると肯定的な回答は37.9%となる。

女性より男性の方が「思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合が40.1%と肯定的な意見が高い結果となった。

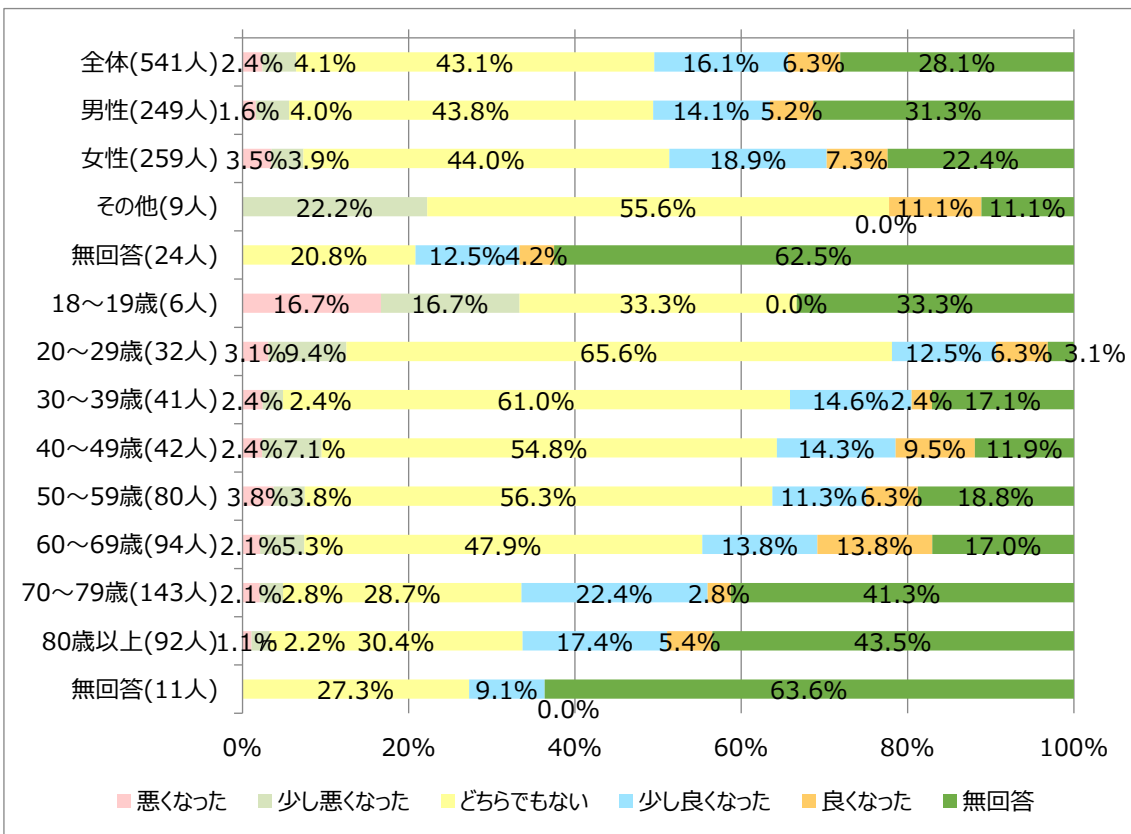
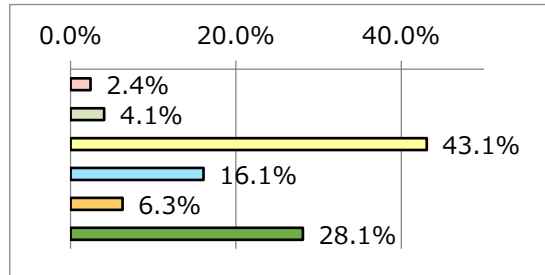
「西成特区構想を知らない」と答えた回答者は80代以上で最も多く37.0%、60代で最も少なく25.5%となった。

8-2. 西成特区構想実施以前との比較

<b>問 17</b>	特区構想実施以前（平成24年以前）と比べて、どう変わったと思いますか？	単一回答
-------------	-------------------------------------	------

1. 子育ての環境

	項目	回答数
1	悪くなった	13
2	少し悪くなった	22
3	どちらでもない	233
4	少し良くなった	87
5	良くなった	34
6	無回答	152
合計		541

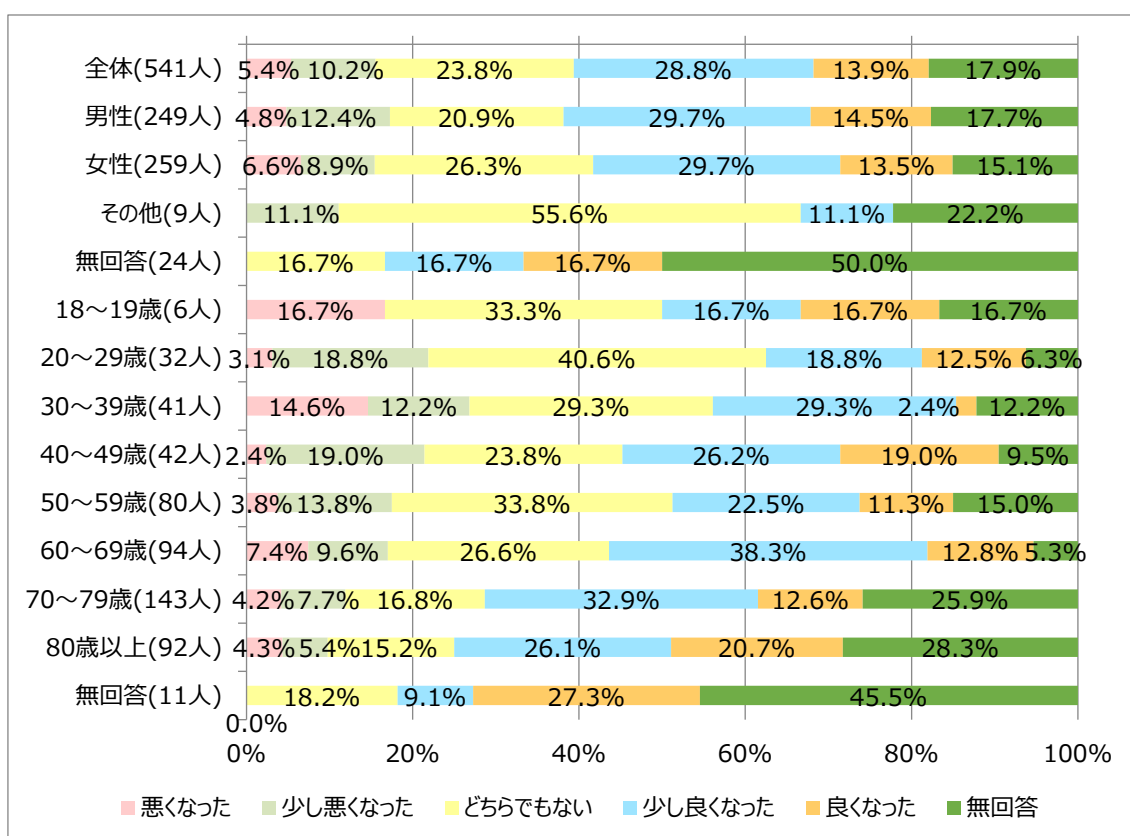
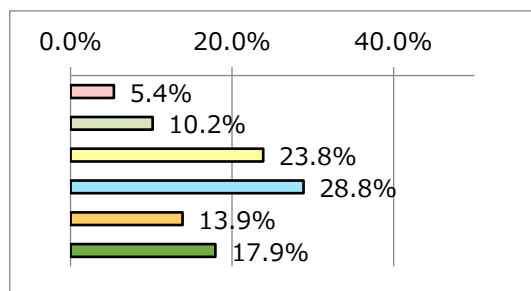


全体では「どちらでもない」43.1%が最も多く、「良くなった」「少し良くなった」との肯定的な回答は 22.4%である。

男女別では、肯定的な回答の割合は、男性 19.3%、女性 26.2%となっている。年代別では、60代が最も高く 27.6%、10代で最も少なく 0%、次いで 30代で 17.0%と、年代によって差が大きく出る結果となった。

## 2. ごみの不法投棄問題・まちの美化

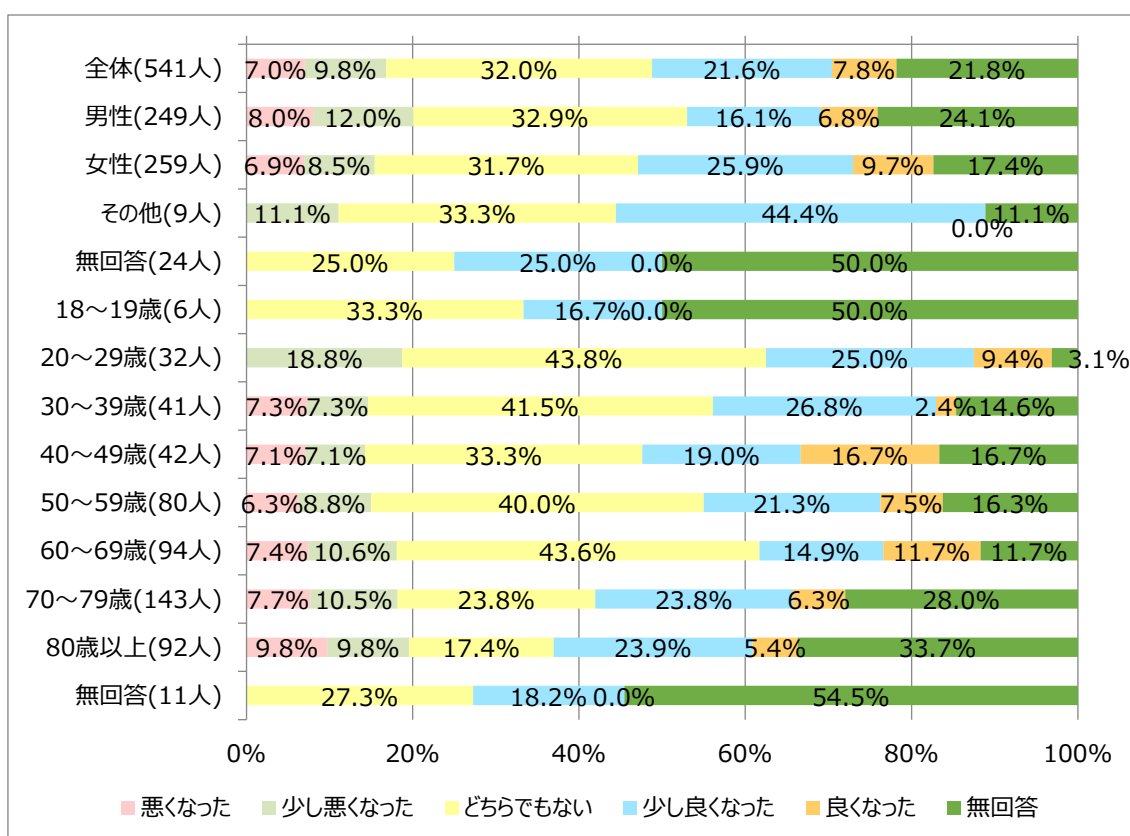
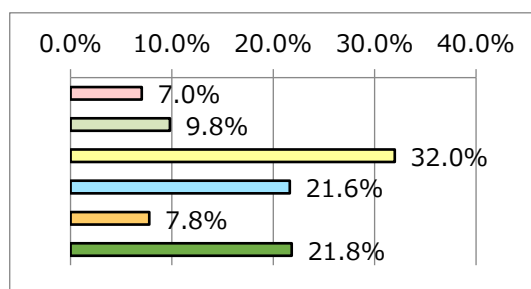
	項目	回答数
1	悪くなった	29
2	少し悪くなった	55
3	どちらでもない	129
4	少し良くなった	156
5	良くなった	75
6	無回答	97
合計		541



全体では「少し良くなった」28.8%が最も多く、「良くなった」と合わせると肯定的な回答は 42.7%である。  
 男女別では、肯定的な回答の割合は、男性 44.2%、女性 43.2%となっている。  
 年代別では、60代が最も高く 51.1%となっている。

### 3. 迷惑駐輪

	項目	回答数
1	悪くなった	38
2	少し悪くなった	53
3	どちらでもない	173
4	少し良くなった	117
5	良くなった	42
6	無回答	118
合計		541



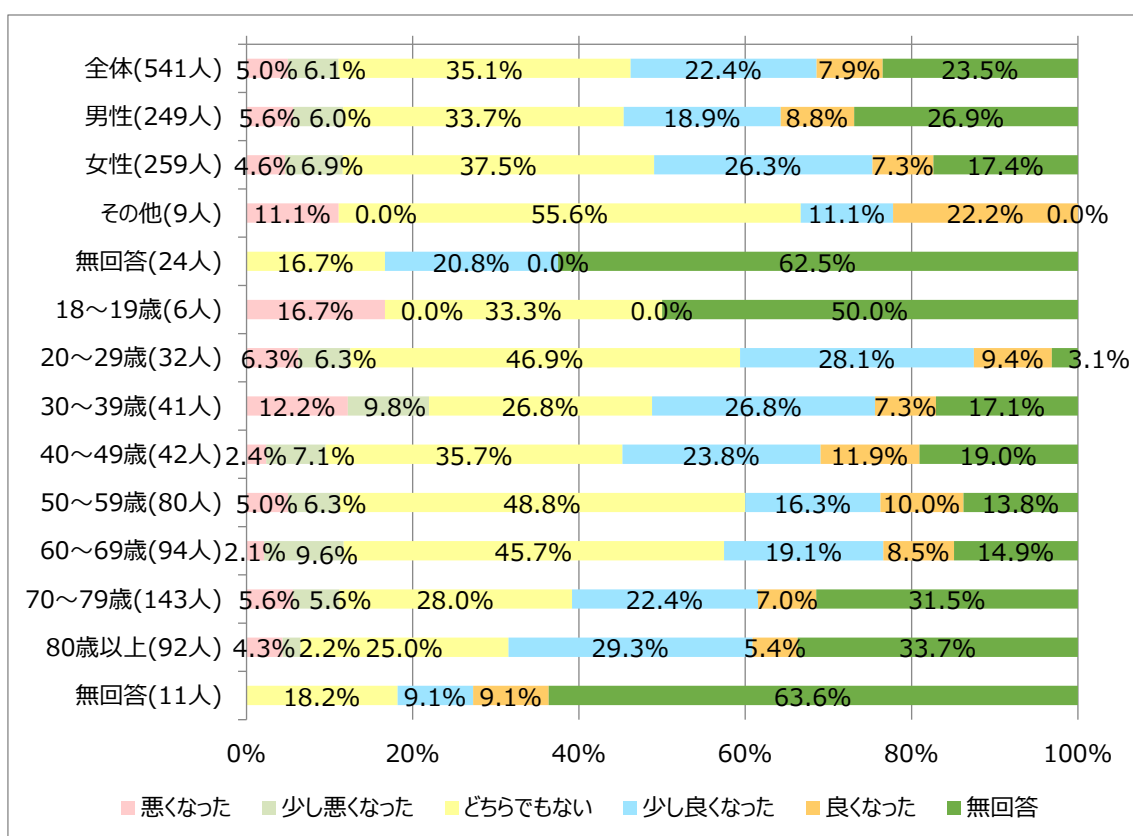
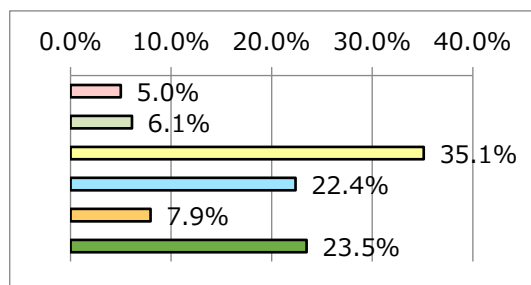
全体では「どちらでもない」32.0%が最も多く、「良くなった」「少し良くなった」との肯定的な回答は合わせて29.4%となる。

男女別では、肯定的な回答の割合は、男性22.9%、女性35.6%となっている。

年代別では、40代の肯定的な回答が最も高く35.7%となった。

#### 4. 公園の環境・利用しやすさ

	項目	回答数
1	悪くなった	27
2	少し悪くなった	33
3	どちらでもない	190
4	少し良くなった	121
5	良くなった	43
6	無回答	127
合計		541

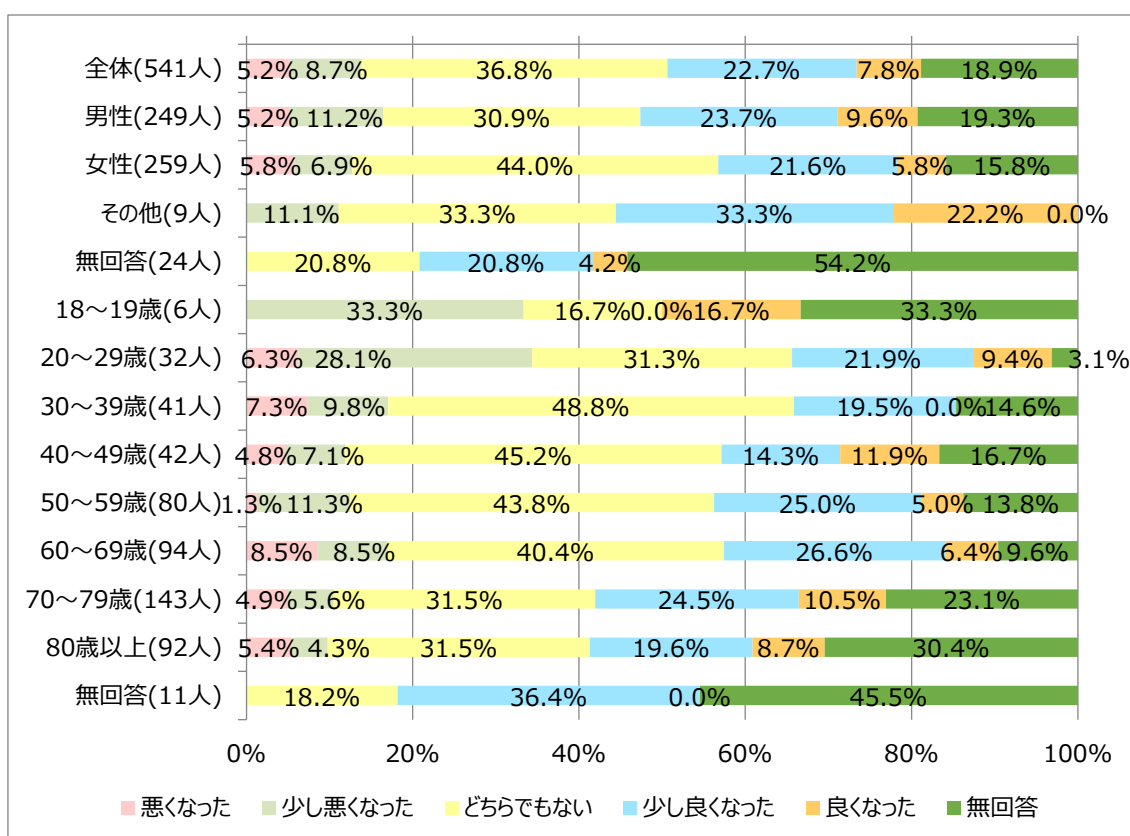
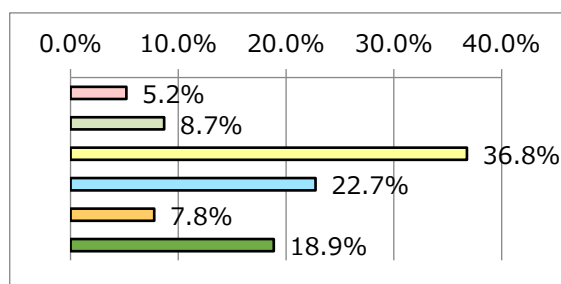


全体では「どちらでもない」35.1%が最も多く、「良くなった」「少し良くなった」との肯定的な回答は合わせて30.3%となる。

男女別では、肯定的な回答の割合は、男性27.7%、女性33.6%となっている。年代別では、20代が最も高く37.5%となり、最も低いのは10代0%、次いで50代26.3%となった。

## 5. 西成区のイメージ

	項目	回答数
1	悪くなった	28
2	少し悪くなった	47
3	どちらでもない	199
4	少し良くなった	123
5	良くなった	42
6	無回答	102
合計		541

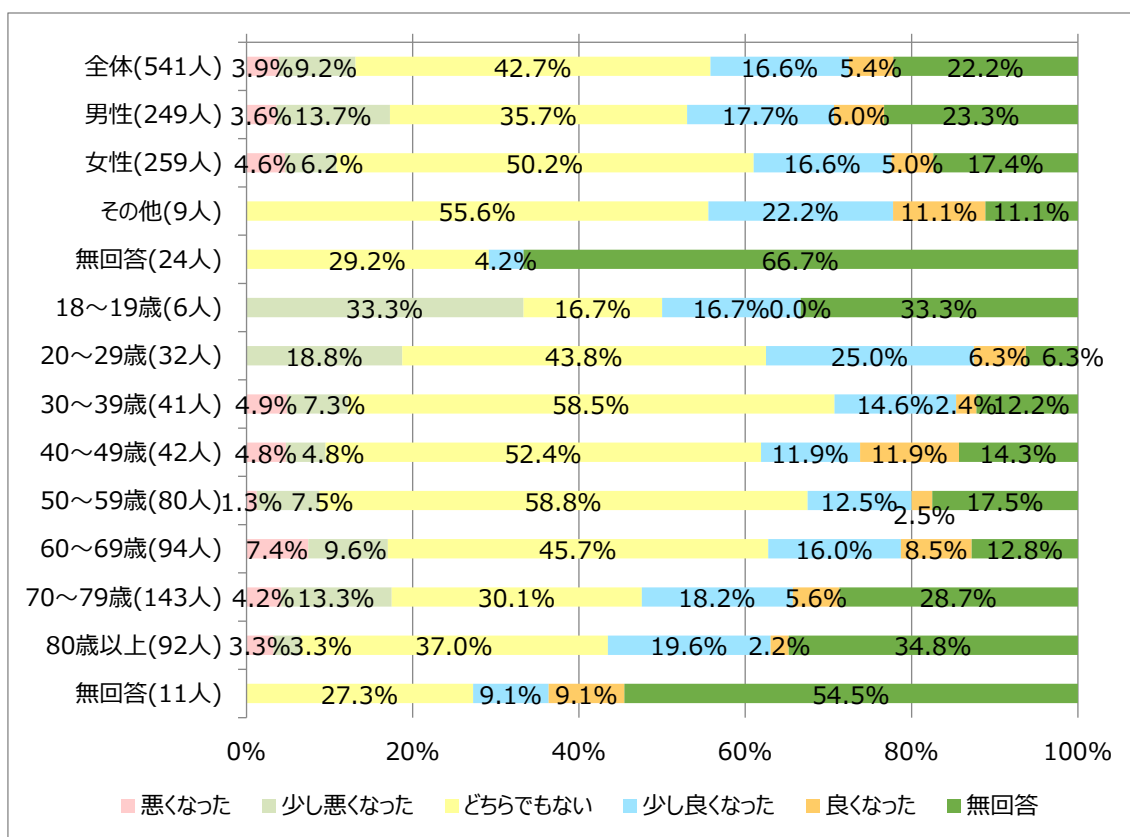
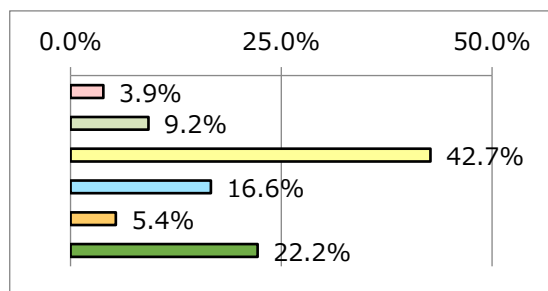


全体では「どちらでもない」36.8%が最も多く、「良くなった」「少し良くなった」との肯定的な回答は合わせて30.5%となる。

男女別では、肯定的な回答の割合は、男性 33.3%、女性 27.4%となっている。年代別では、70代が最も高く 35.0%となった。

## 6. 防犯・犯罪抑止等

	項目	回答数
1	悪くなった	21
2	少し悪くなった	50
3	どちらでもない	231
4	少し良くなった	90
5	良くなった	29
6	無回答	120
合計		541

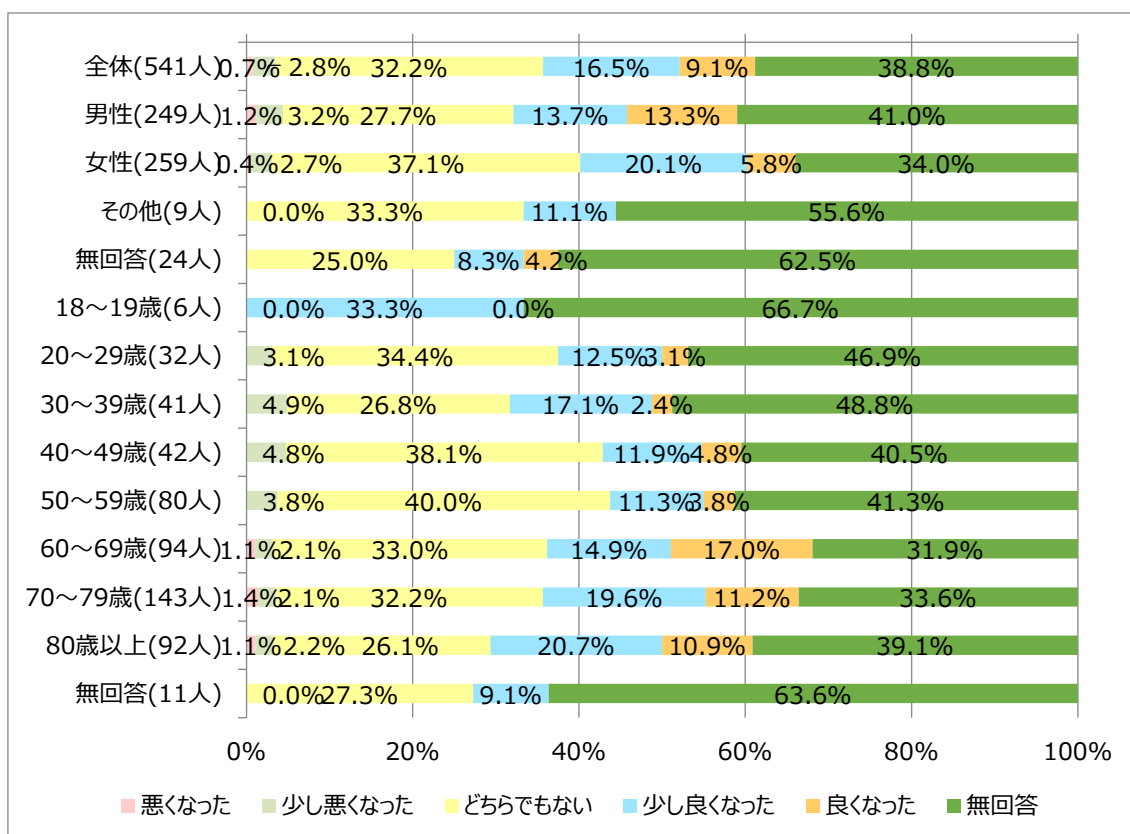
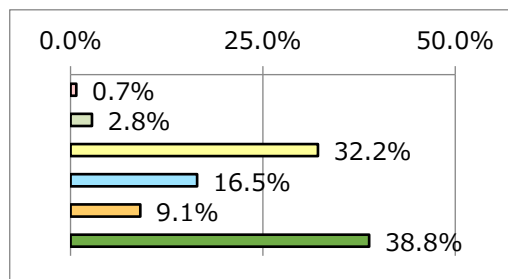


全体では「どちらでもない」42.7%が最も多く、「良くなった」「少し良くなった」との肯定的な回答は合わせて22.0%となる。

男女別では、肯定的な回答の割合は、男性 23.7%、女性 21.6%となっている。年代別では、20代が最も高く 31.3%となった。

## 7. 結核対策（医療と福祉の連携）

	項目	回答数
1	悪くなった	4
2	少し悪くなった	15
3	どちらでもない	174
4	少し良くなった	89
5	良くなった	49
6	無回答	210
合計		541



全体では「どちらでもない」32.2%が最も多く、「良くなった」「少し良くなった」との肯定的な回答は合わせて25.6%となる。

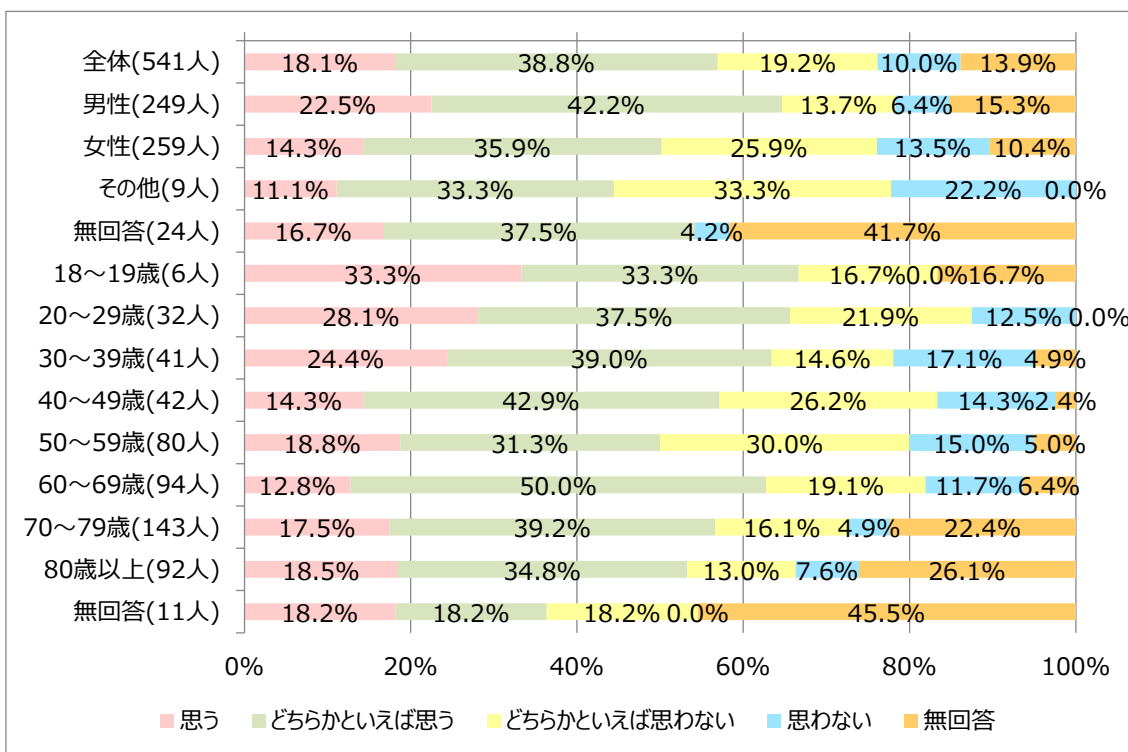
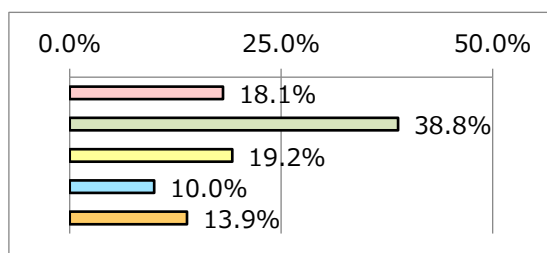
男女別では、肯定的な回答の割合は、男性 27.0%、女性 25.9%となっている。年代別では、10代が最も高く33.3%、次いで60代が31.9%となった。



8-3. あいりん地域の環境改善状況

<b>問 18</b>	大阪府・市・警察が協働で西成特区構想に呼応して、ごみの不法投棄対策や迷惑駐輪対策、見守り活動などの安全対策、薬物依存症者等に対する支援や薬物の取締り活動など、あいりん地域の環境整備を推進しています。このような取組みにより、あなたは、あいりん地域の環境が良くなったと思いますか？	単一回答
-------------	--	------

	項目	回答数
1	思う	98
2	どちらかといえば思う	210
3	どちらかといえば思わない	104
4	思わない	54
5	無回答	75
合計		541



全体で最も多いのは「どちらかといえば思う」で 38.8%である。18.1%の「思う」と合わせると 56.9%の方があいりん地域の環境が良くなったと思われる。

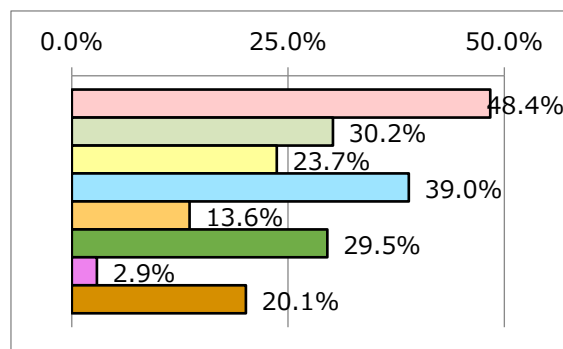
男女別では、肯定的な回答の割合は、男性 64.7%、女性 50.2%となっている。

年代別では「思う」「どちらかといえば思う」の割合が最も高いのは 10 代の 66.6%、一方最も低いのは 50 代で 50.1%である。

#### 8-4. あいりん地域の環境が改善した理由

**問 18-1** 問18に「1」「2」と答えた方にお聞きます。  
どの取組みにより良くなったと思いますか？（✓はいくつでも） 複数回答

	項目	回答数
1	ごみの不法投棄対策	149
2	通学路を中心とした安全対策	93
3	薬物対策	73
4	違法露店対策	120
5	落書き除去対策	42
6	迷惑駐輪対策	91
7	その他	9
8	無回答	62
回答総数		639
対象回答者数		308



※対象回答者…問 18 で「1」「2」と答えた回答者の回答

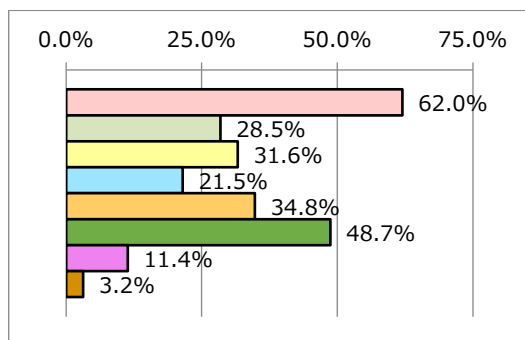
最も多い回答が、「ごみの不法投棄対策」で 149 件、対象回答者の 48.4%である。次いで「違法露店対策」の 120 件 39.0%である。一方、最も少ない回答は「落書き除去対策」の 42 件 13.6%で、二番目に少ない回答は「薬物対策」73 件 23.7%である。

「その他」を選択した方の記述回答には、「公園の美化運動」などがある。

#### 8-5. あいりん地域での改善が進んでいない対策

**問 18-2** 問18に「3」「4」と答えた方にお聞きます。  
良くなったと思わない理由として、改善が進んでいないことは何だと思えますか？（✓はいくつでも） 複数回答

	項目	回答数
1	ごみの不法投棄対策	98
2	通学路を中心とした安全対策	45
3	薬物対策	50
4	違法露店対策	34
5	落書き除去対策	55
6	迷惑駐輪対策	77
7	その他	18
8	無回答	5
回答総数		382
対象回答者数		158



※対象回答者…問 18 で「3」「4」と答えた回答者の回答

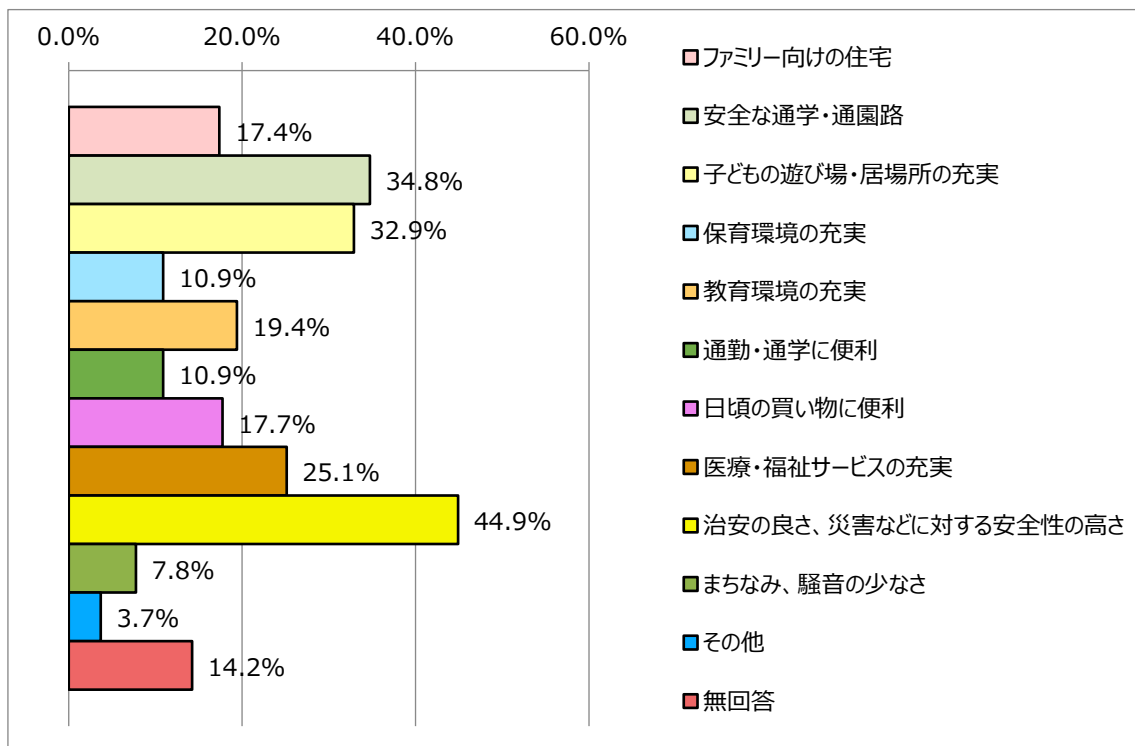
最も多い回答が、「ごみの不法投棄対策」で 98 件、対象回答者のうち 62.0%が選択している。二番目が「迷惑駐輪対策」で 77 件 48.7%である。一方、「その他」を除く選択肢のうち最も少ない回答は「違法露店対策」で 34 件 21.5%である。

「その他」を選択した方の記述回答には、「酔っ払いや大声での喧嘩、暴力などを何度も見た」などがある。

8-6. 西成特区構想でのまちづくりへのアイデア

<b>問 19</b>	西成区内で子育てをするときに、重要視するまちの要件は何ですか？ (✓は3つまで)	複数回答
-------------	---	------

	項目	回答数
1	ファミリー向けの住宅	94
2	安全な通学・通園路	188
3	子どもの遊び場・居場所の充実	178
4	保育環境の充実	59
5	教育環境の充実	105
6	通勤・通学に便利	59
7	日頃の買い物に便利	96
8	医療・福祉サービスの充実	136
9	治安の良さ、災害などに対する安全性の高さ	243
10	まちなみ、騒音の少なさ	42
11	その他	20
12	無回答	77
回答総数		1301
対象回答者数		541



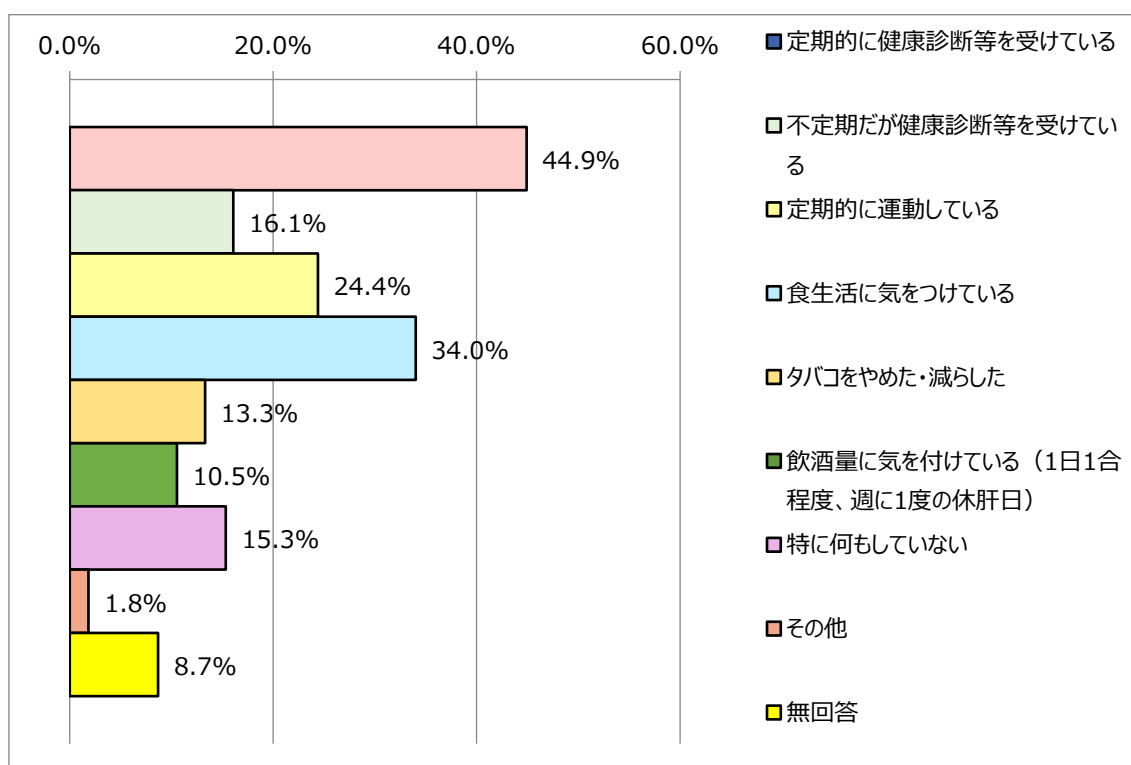
全体で最も多いのは「治安の良さ、災害などに対する安全性の高さ」で 44.9%である。次いで「安全な通学・通園路」で 34.8%である。

## 9. 健康づくりについて

### 9-1. 健康のために心がけている取り組み

<b>問 20</b>	あなたは、健康のために心がけていることがありますか？（✓はいくつでも）	複数回答
-------------	-------------------------------------	------

	項目	回答数
1	定期的に健康診断等を受けている	243
2	不定期だが健康診断等を受けている	87
3	定期的に運動している	132
4	食生活に気をつけている	184
5	タバコをやめた・減らした	72
6	飲酒量に気をつけている（1日1合程度、週に1度の休肝日）	57
7	特に何もしていない	83
8	その他	10
9	無回答	47
回答総数		914
対象回答者数		541



最も多い回答は「定期的に健康診断等を受けている」で 243 件、全回答者の 44.9%である。次いで「食生活に気をつけている」の 184 件で 34.0%である。

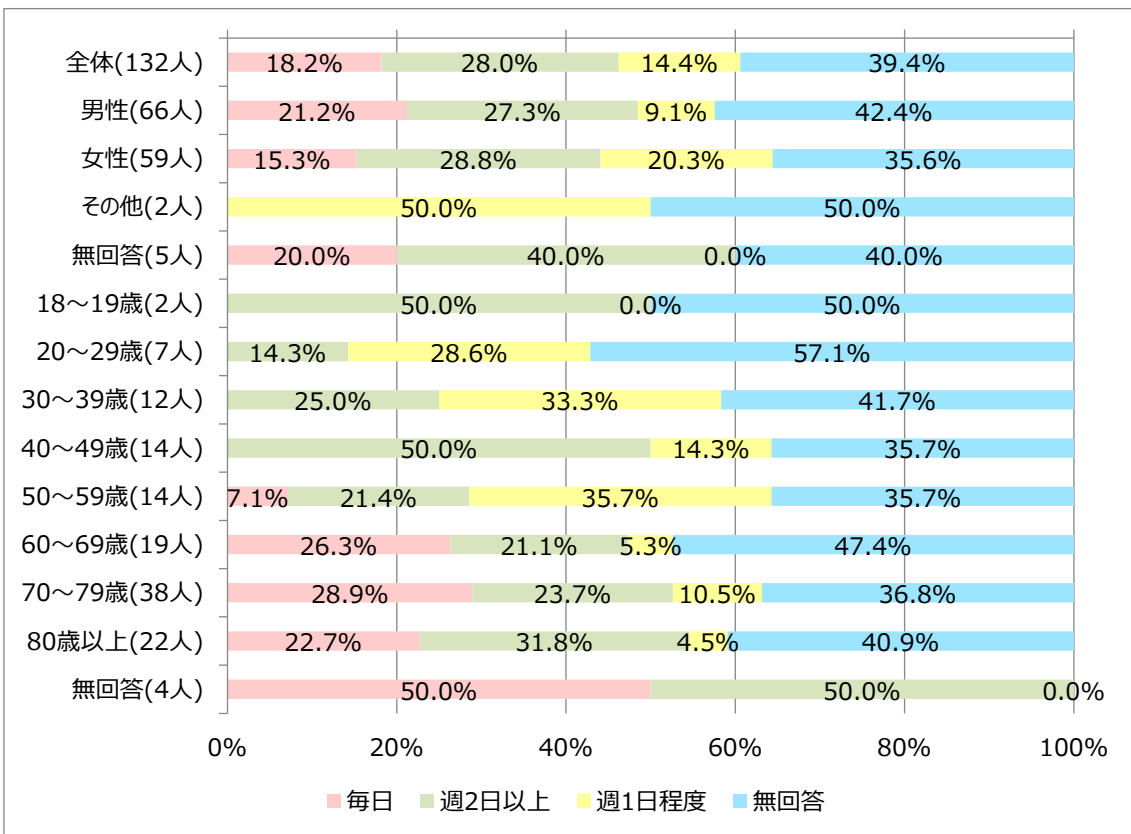
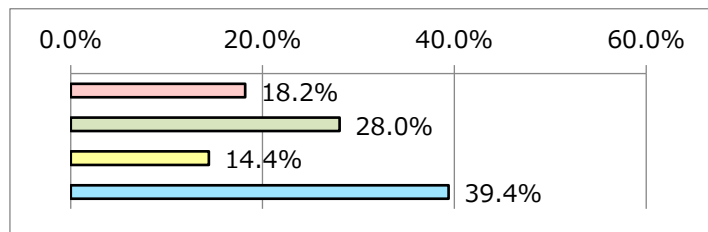
「その他」の記述回答は、「散歩している」などがある。

9-2. 運動の【頻度】と【1回の時間】

<b>問 20-1</b>	問20で「3」と答えた方（定期的に運動している方）にお聞きます。運動の【頻度】及び【1回の時間】についてお答えください。	単一回答
---------------	--	------

【頻度】

	項目	回答数
1	毎日	24
2	週2日以上	37
3	週1日程度	19
4	無回答	52
合計		132



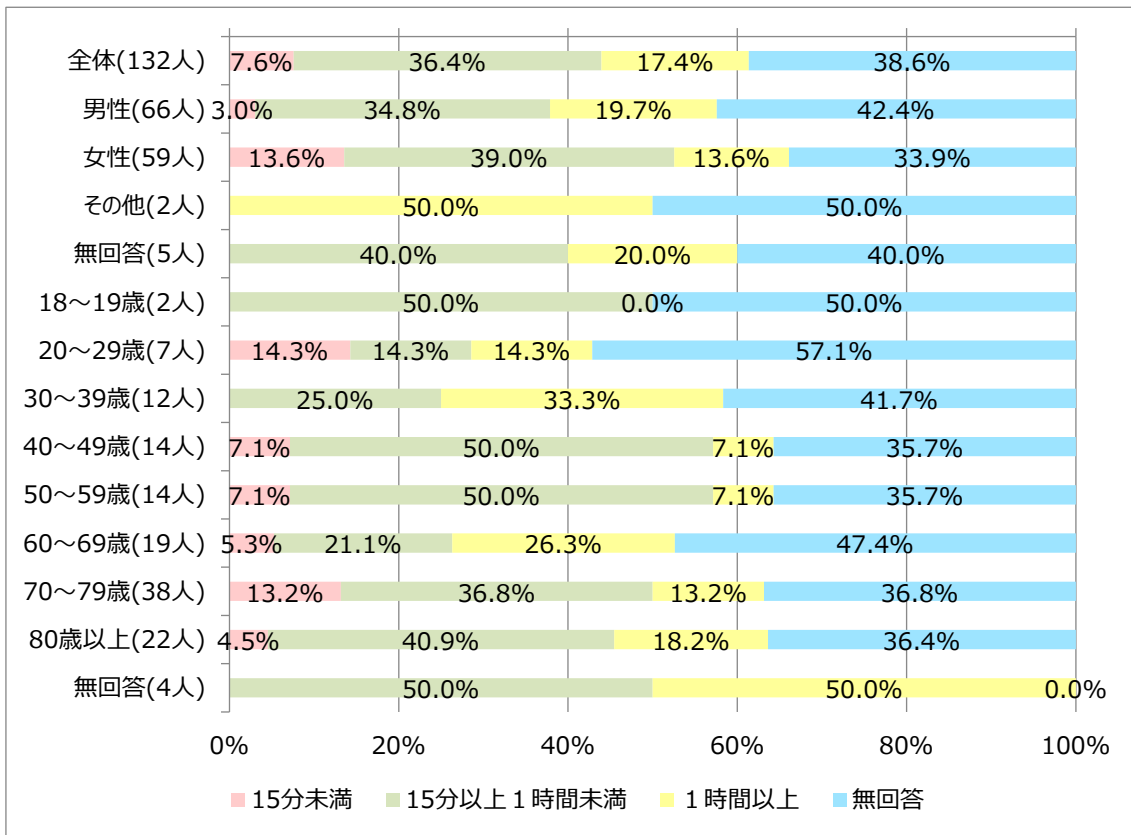
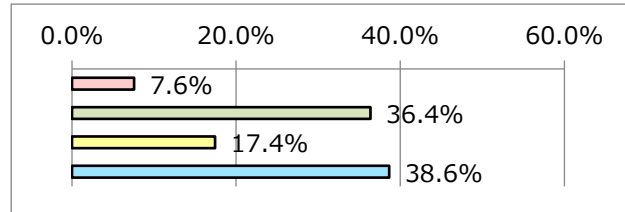
全体で最も多いのは「週2日以上」で 28.0%である。二番目に多いのが「毎日」の 18.2%である。

男女別では、「週2日以上」が男性は 27.3%、女性は 28.8%となっている。

年代別では「週2日以上」が最も高いのは 10代、40代で 50.0%、一方最も低いのは 20代で 14.3%である。

【1 回の時間】

	項目	回答数
1	15分未満	10
2	15分以上1時間未満	48
3	1時間以上	23
4	無回答	51
合計		132



全体で最も多いのは「15分以上1時間未満」で36.4%、次いで「1時間以上」の17.4%である。

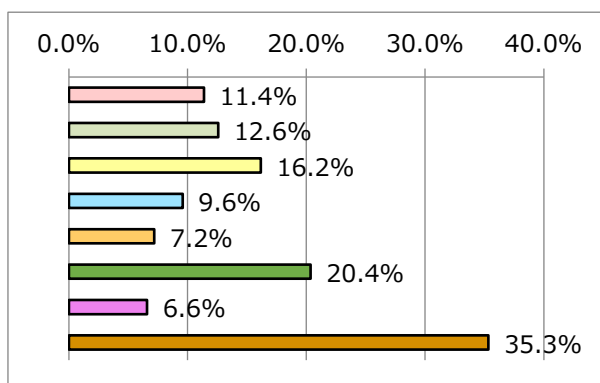
男女別では、「15分以上1時間未満」の男性が34.8%、女性は39.0%と、男女共に最も高くなっている。

年代別では「15分以上1時間未満」が最も高いのは10代、40代、50代の50.0%であり、最も低いのは20代の14.3%である。

9-3. 健康診断等を受けない理由

<b>問 20-2</b>	問20で「1」・「2」と答えていない方（健康診断等を受けていない方）にお聞きします。 健康診断等を受けない理由は何ですか？（✓はいくつでも）	複数回答
---------------	---	------

	項目	回答数
1	時間がないから	19
2	受け方がわからないから	21
3	面倒だから	27
4	検査結果を知るのが怖いから	16
5	健康に自信があるから	12
6	治療のため通院中だから	34
7	その他	11
8	無回答	59
回答総数		199
対象回答者数		167

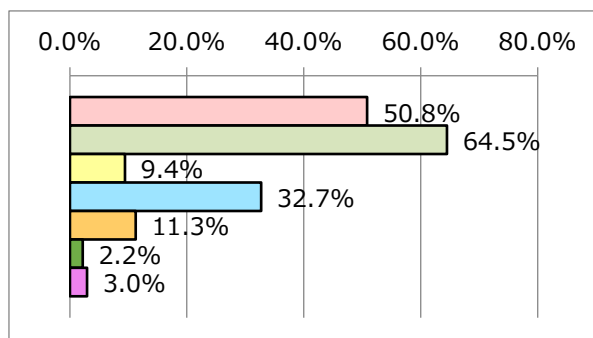


無回答を除いた最も多い回答は「治療のため通院中だから」で 20.4%、次いで「面倒だから」が 16.2%、「受け方がわからないから」が 12.6%となった。

9-4. 健康のために取り組んでいる内容

<b>問 21</b>	あなたは、今後健康のために取り組もうと思うことはありますか？ (✓はいくつでも)	複数回答
-------------	---	------

	項目	回答数
1	運動を始める・続ける	275
2	食生活に気をつける	349
3	タバコをやめる・減らす	51
4	健康診断等を受ける	177
5	特に何もしようと思わない	61
6	その他	12
7	無回答	16
回答総数		941
対象回答者数		541



全体で最も多い回答は、「食生活に気をつける」349件、回答者541名のうち64.5%が選択した。次に「運動を始める・続ける」が275件50.8%、三番目は「健康診断等を受ける」で177件32.7%であり、多くの回答者が健康のために何か取り組もうと思っていることが分かる。

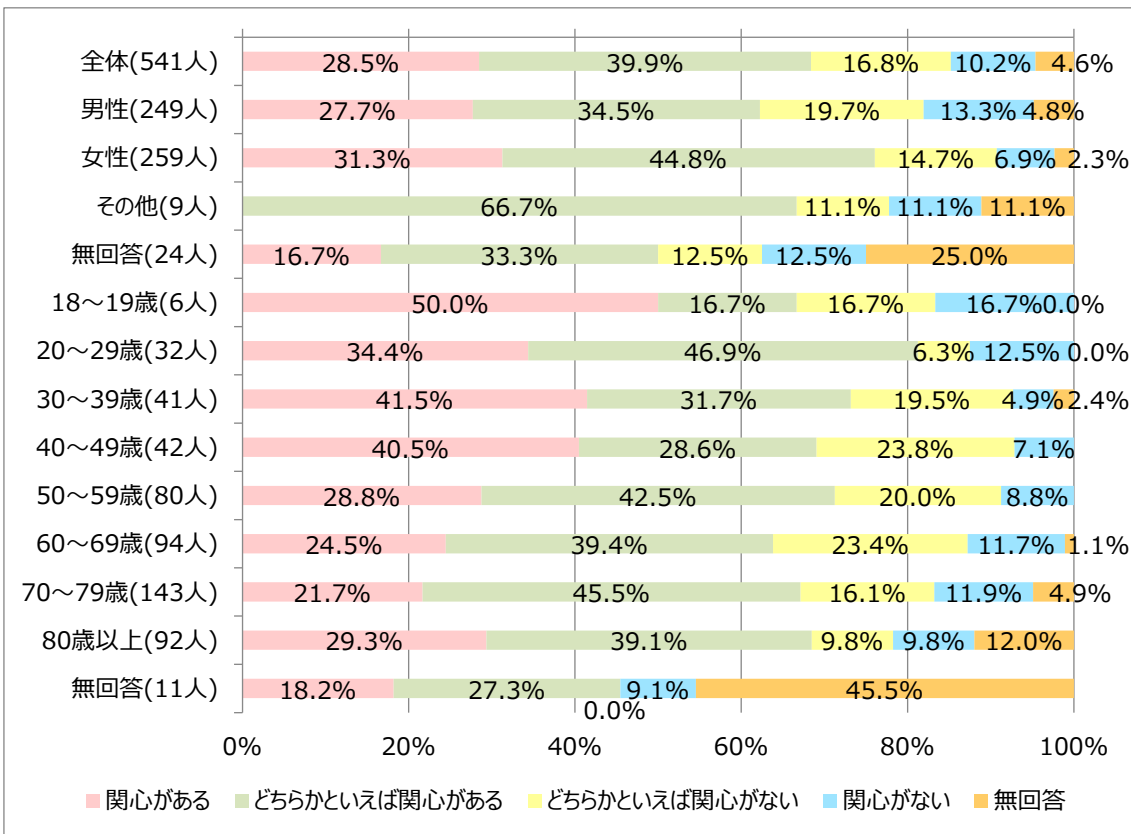
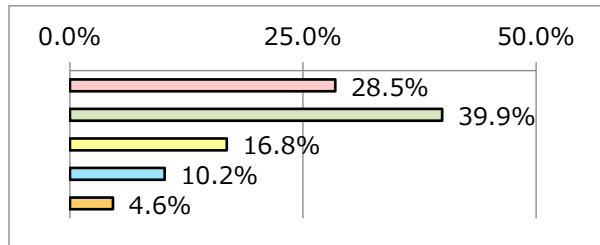
「その他」の自由記述欄では、「散歩」、「外出する」、「通院する」などがある。



9-5. 「食育」の関心度

**問 22** あなたは、「食育」に関心がありますか？ 単一回答

	項目	回答数
1	関心がある	154
2	どちらかといえば関心がある	216
3	どちらかといえば関心がない	91
4	関心がない	55
5	無回答	25
合計		541



全体で最も多いのは「どちらかといえば関心がある」で 39.9%である。「関心がある」28.5%と合わせると 68.4%の方が「食育」に関心を持っている。

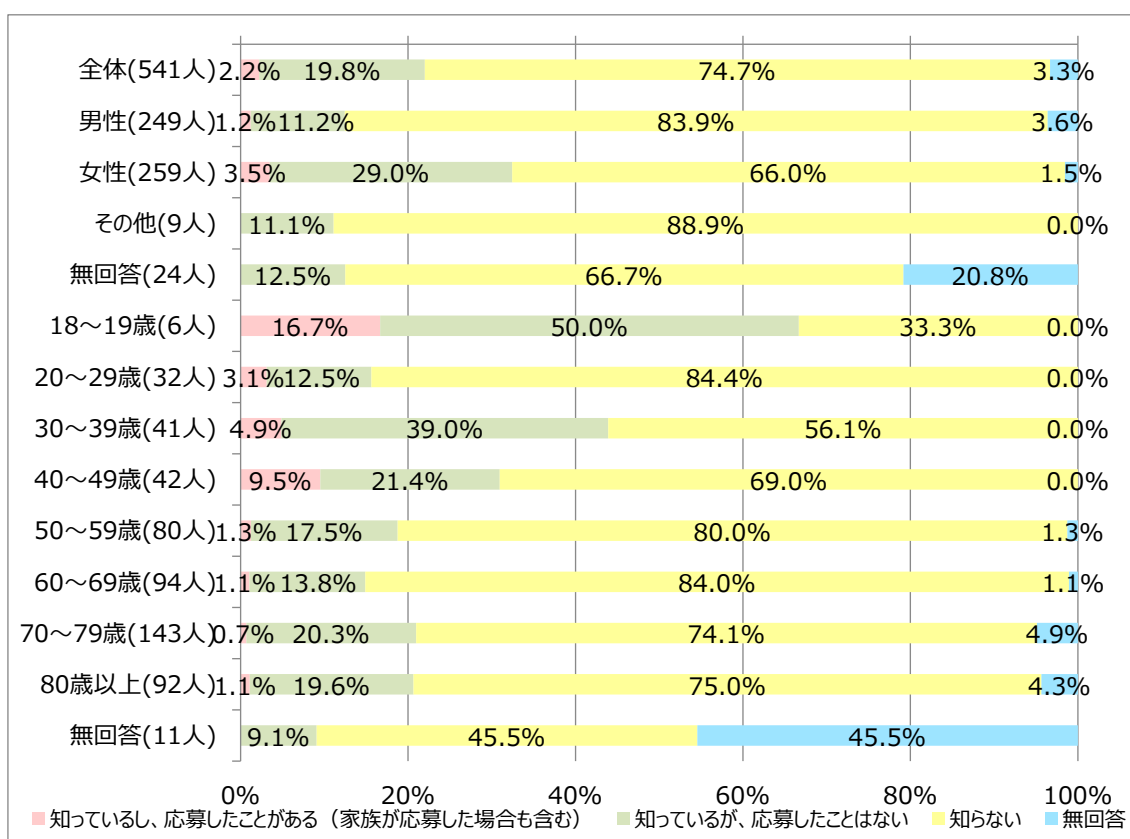
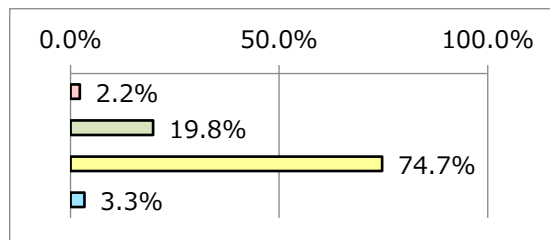
男女別では、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」は男性が 62.2%、女性が 76.1%であり、女性の関心の高さがうかがえる。

年代別では、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」は 20 代が 81.3%と最も高く、次いで 30 代が 73.2%、50 代が 71.3%となった。

9-6. レシピコンテスト

**問 23** 平成24年度から毎年レシピを公募し、コンテストを開催していますが、あなたは実施していることを知っていましたか？また、応募したことはありますか？ 単一回答

	項目	回答数
1	知っているし、応募したことがある	12
2	知っているが、応募したことはない	107
3	知らない	404
4	無回答	18
合計		541



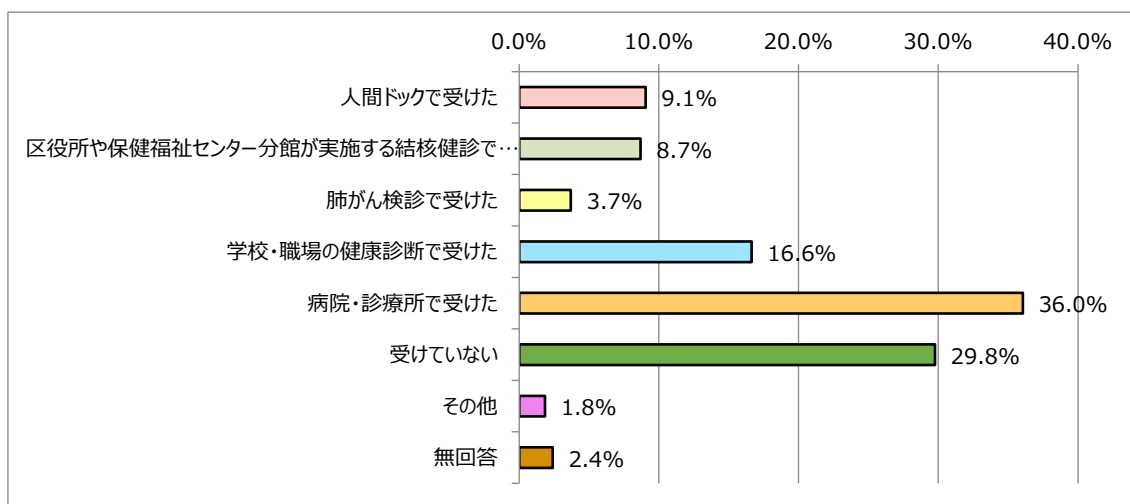
全体で最も多いのは「知らない」で 74.7%である。「知っているし、応募したことがある」「知っているが、応募したことはない」を合わせると、22.0%である。

「知っているし、応募したことがある」「知っているが、応募したことはない」を合わせると、男女別では男性が 12.4%、女性が 32.5%であり男性より女性が高かった。年代別では、10代が 66.7%、30代が 43.9%と他の年代より高かった。

9-7. 胸部レントゲン検査の受診状況

**問 24** あなたは、1年以内に胸のレントゲン検査を受けましたか？(✓はいくつでも) 複数回答

	項目	回答数
1	人間ドックで受けた	49
2	区役所や保健福祉センター分館が実施する結核健診で受けた	47
3	肺がん検診で受けた	20
4	学校・職場の健康診断で受けた	90
5	病院・診療所で受けた	195
6	受けていない	161
7	1～5 以外で受けた	10
8	無回答	13
回答総数		585
対象回答者数		541

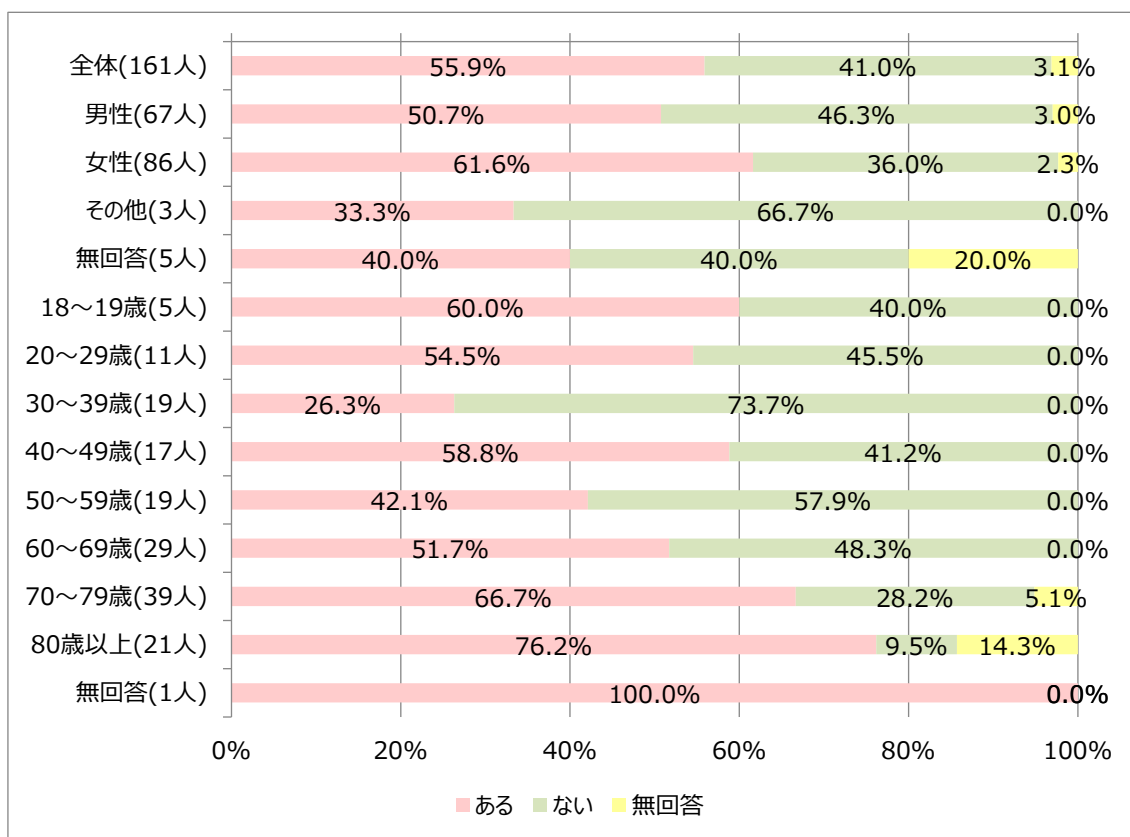
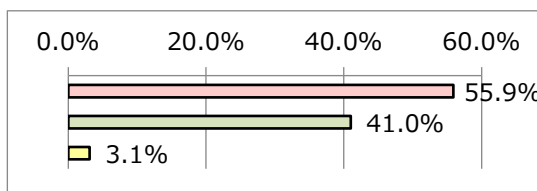


“受けた”回答の中で最も多いのは、「病院・診療所で受けた」で 195 件 36.0%、次いで「学校・職場の健康診断で受けた」で 90 件 16.6%である。一方で、「受けていない」の回答は 161 件 29.8%である。

9-8. かかりつけ医の有無

<b>問 24-1</b>	問24で「6.受けていない」と答えた方にお聞きます。 かかりつけ医はありますか？	単一回答
---------------	---	------

	項目	回答数
1	ある	90
2	ない	66
3	無回答	5
合計		161



全体では「ある」が 55.9%、「ない」が 41.0%である。

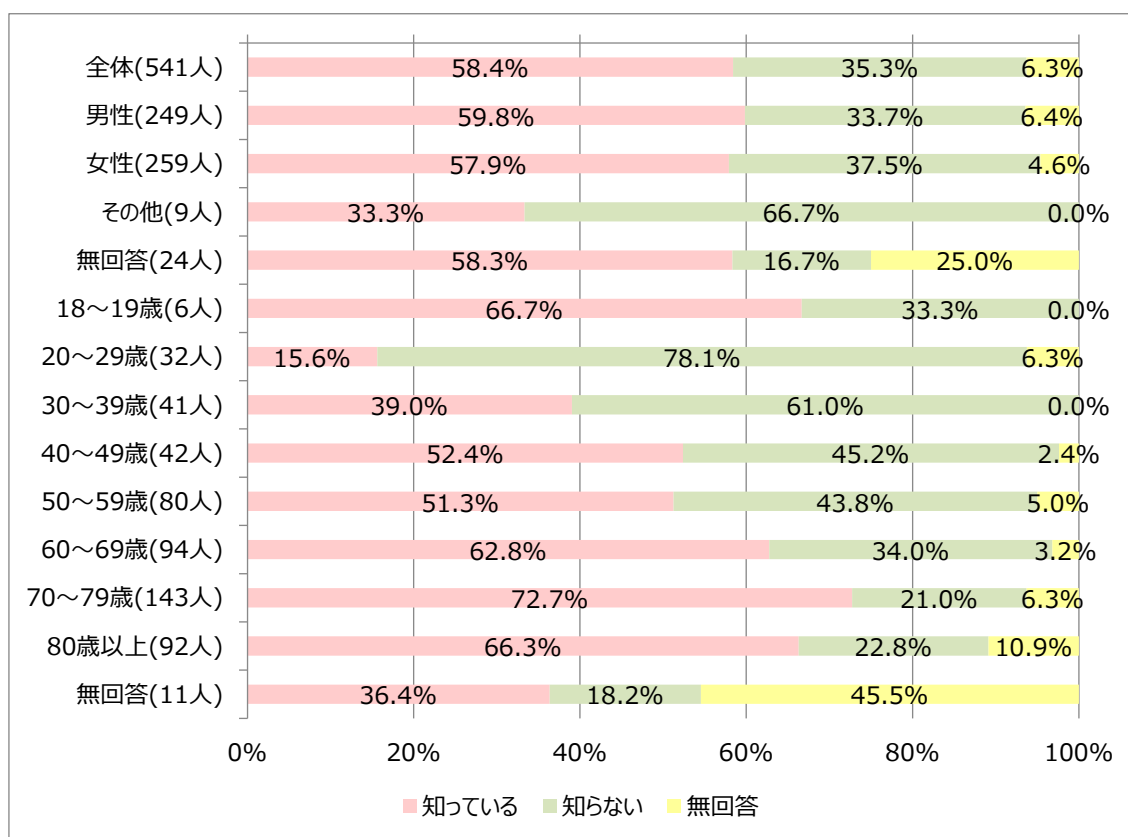
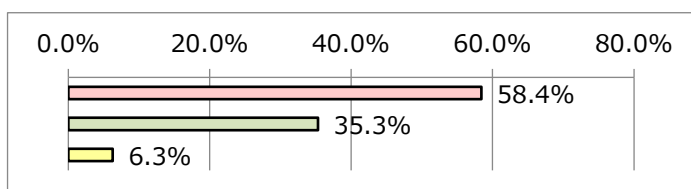
「ある」は男性 50.7%、女性 61.6%と、男女共に「ある」のほうが多いが、男性に比べ女性の方が「ある」が多く、リスク対策への意識が高いことがわかる。

年代別では「ある」が 80 歳以上で 76.2%と最も高く、30 代で 26.3%と最も低かった。

9-9. 無料結核健診の認知度

<b>問 25</b>	あなたは、区役所や保健福祉センター分館で、無料で結核健診（胸部レントゲン検査）を受診できることを知っていますか？	単一回答
-------------	--	------

	項目	回答数
1	知っている	316
2	知らない	191
3	無回答	34
合計		541



全体では 58.4%の回答者が「知っている」と回答し、「知らない」は 35.3%であった。

男性では「知っている」が 59.8%、「知らない」が 33.7%、女性では「知っている」が 57.9%、「知らない」が 37.5%であり、女性の方が「知らない」割合がやや高い。

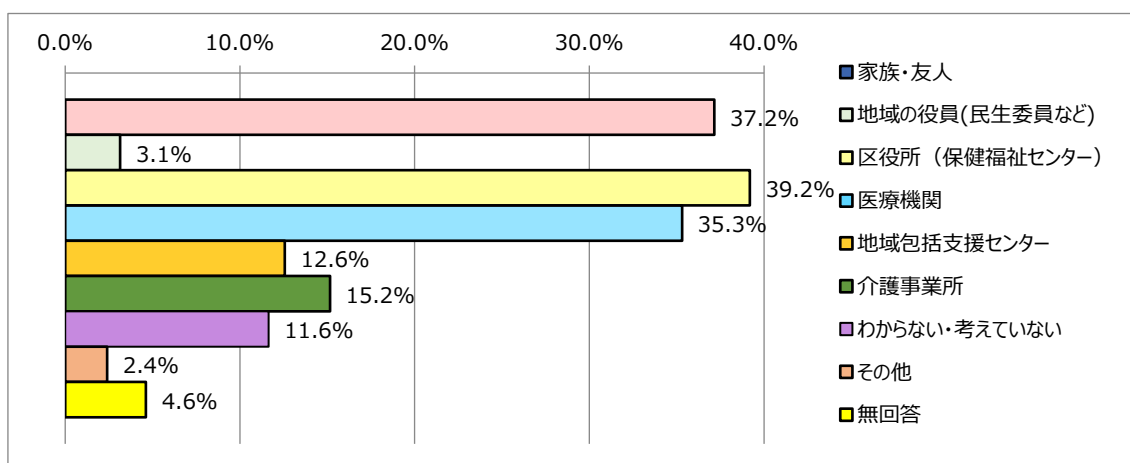
また、年代別にみると、「知っている」の回答の割合が一番低いのは 20 代で 15.6%、一番高いのは 70 代で 72.7%である。

## 10. 在宅医療について

### 10-1. 医療、介護サービスについての相談場所

<b>問 26</b>	あなたは、医療や介護サービスについて相談が必要な時はどこに相談しますか？（✓はいくつでも）	複数回答
-------------	---	------

	項目	回答数
1	家族・友人	201
2	地域の役員(民生委員など)	17
3	区役所（保健福祉センター）	212
4	医療機関	191
5	地域包括支援センター	68
6	介護事業所	82
7	わからない・考えていない	63
8	その他	13
9	無回答	25
回答総数		872
対象回答者数		541



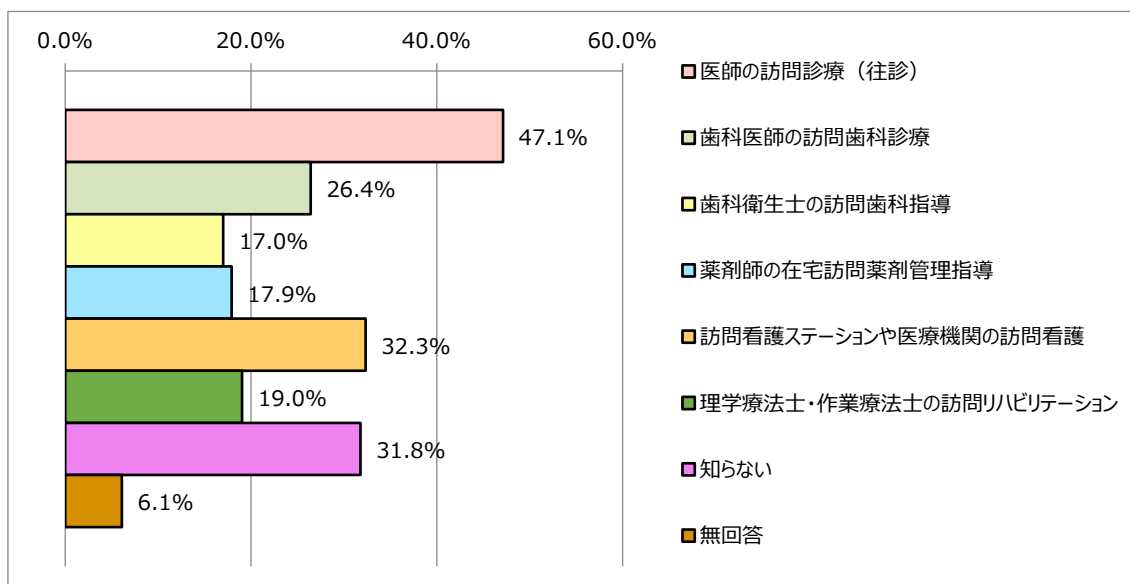
最も多い回答は、「区役所（保健福祉センター）」で 212 件であり回答者の 39.2%の方が選択した。続いて「家族・友人」201 件で 37.2%、「医療機関」191 件 35.3%である。一方、「その他」以外の最も少ない回答は「地域の役員(民生委員など)」で 17 件 3.1%である。

「その他」の具体的な回答は、「自分で調べる」、「ヘルパーさん」などがある。

## 10-2. 在宅医療サービスの認知度

<b>問 27</b>	あなたは、在宅医療を支えるサービスについて知っていますか？ (知っているものすべてに✓)	複数回答
-------------	---	------

	項目	回答数
1	医師の訪問診療（往診）	255
2	歯科医師の訪問歯科診療	143
3	歯科衛生士の訪問歯科指導	92
4	薬剤師の在宅訪問薬剤管理指導	97
5	訪問看護ステーションや医療機関の訪問看護	175
6	理学療法士・作業療法士の訪問リハビリテーション	103
7	知らない	172
8	無回答	33
回答総数		1070
対象回答者数		541



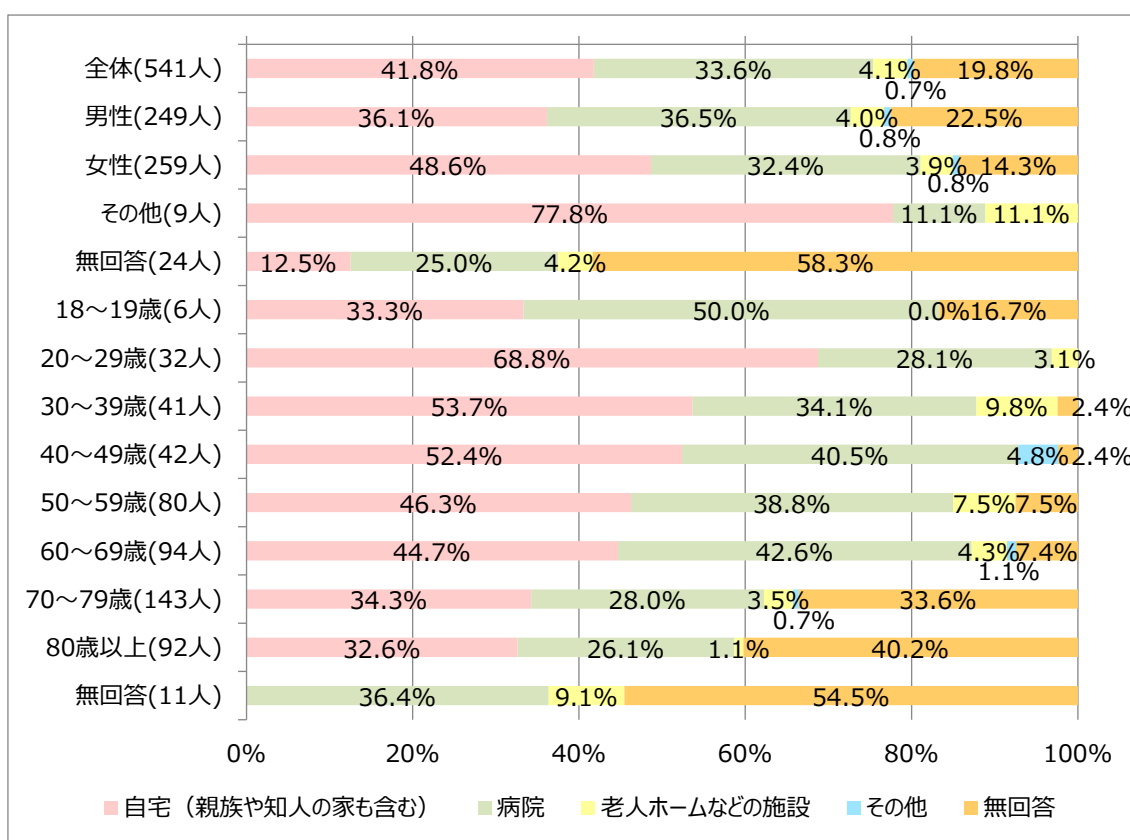
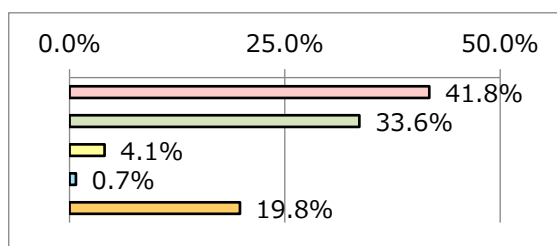
いずれかのサービスを選んだ回答の中で、最も多いのは「医師訪問診療(往診)」で 255 件 47.1%、次いで「訪問看護ステーションや医療機関の訪問看護」175 件 32.3%、三番目が「歯科医師の訪問歯科診療」143 件 26.4%である。最も回答数が少ないのは「歯科衛生士の訪問歯科指導」で 92 件 17.0%である。

一方で、「知らない」の回答が全体で三番目に多く 172 件 31.8%である。

10-3. 医療と介護が同時に必要なときに暮らしたい場所

<b>問 28</b>	もしもあなたが、がんや慢性の病気などで医療と介護が同時に必要になった場合、どこで暮らしたいと思いますか？	単一回答
-------------	--	------

	項目	回答数
1	自宅（親族や知人の家も含む）	226
2	病院	182
3	老人ホームなどの施設	22
4	その他	4
5	無回答	107
合計		541



全体では、「自宅（親族や知人の家も含む）」が最も多く226件41.8%、次いで「病院」が182件33.6%で、「老人ホームなどの施設」は22件4.1%である。

男性では「病院」が36.5%で最も高く、女性では「自宅（親族や知人の家も含む）」が48.6%と最も高くなった。

年代別にみると、「自宅（親族や知人の家も含む）」の割合が最も高いのは20代68.8%で、最も低いのは80代以上32.6%である。

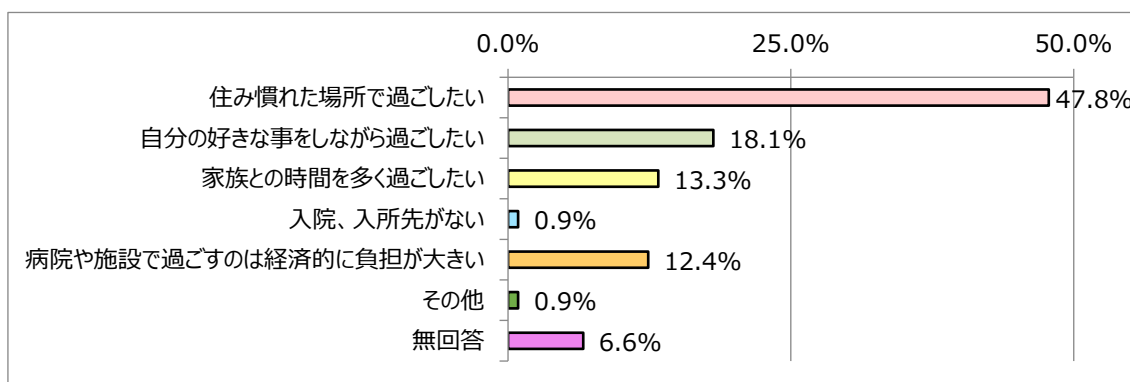
「その他」の記述回答には、「その時にならないとわからない」などがあつた。



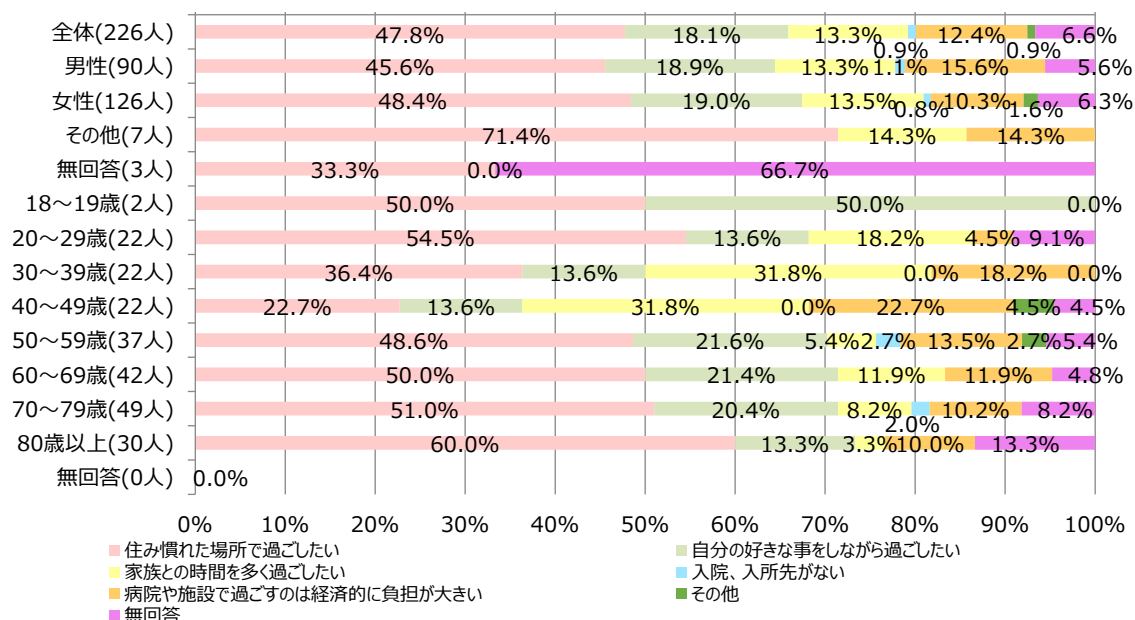
10-4. 医療と介護が同時に必要な時に自宅で暮らしたい理由

<b>問 28-1</b>	問28で「1」と答えた方にお聞きます。 なぜ、自宅で暮らしたいと思いますか？（✓は1つだけ）	単一回答
---------------	---	------

	項目	回答数
1	住み慣れた場所で過ごしたい	108
2	自分の好きな事をしながら過ごしたい	41
3	家族との時間を多く過ごしたい	30
4	入院、入所先がない	2
5	病院や施設で過ごすのは経済的に負担が大きい	28
6	その他	2
7	無回答	15
合計		226



※対象回答者…問28で「1」と答えた回答者の回答



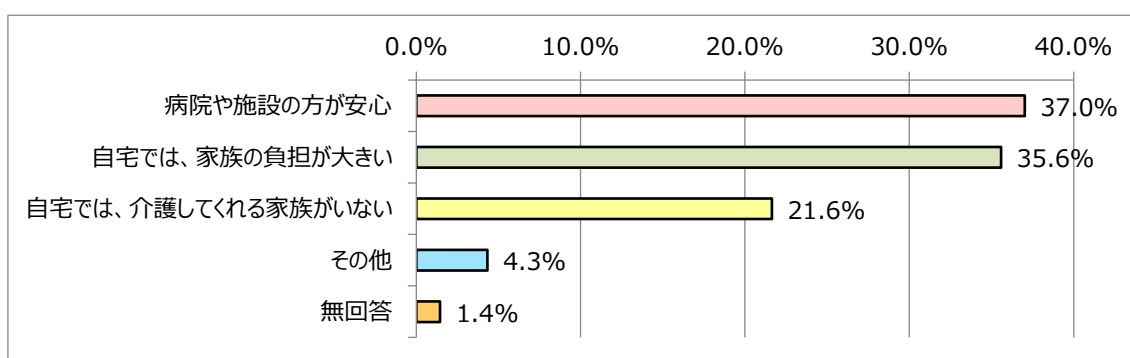
全体で最も多い回答は「住み慣れた場所で過ごしたい」で47.8%、次に「自分の好きなことをしながら過ごしたい」18.1%である。

男女とも、「住み慣れた場所で過ごしたい」の回答率が最も高く、男性45.6%、女性48.4%である。

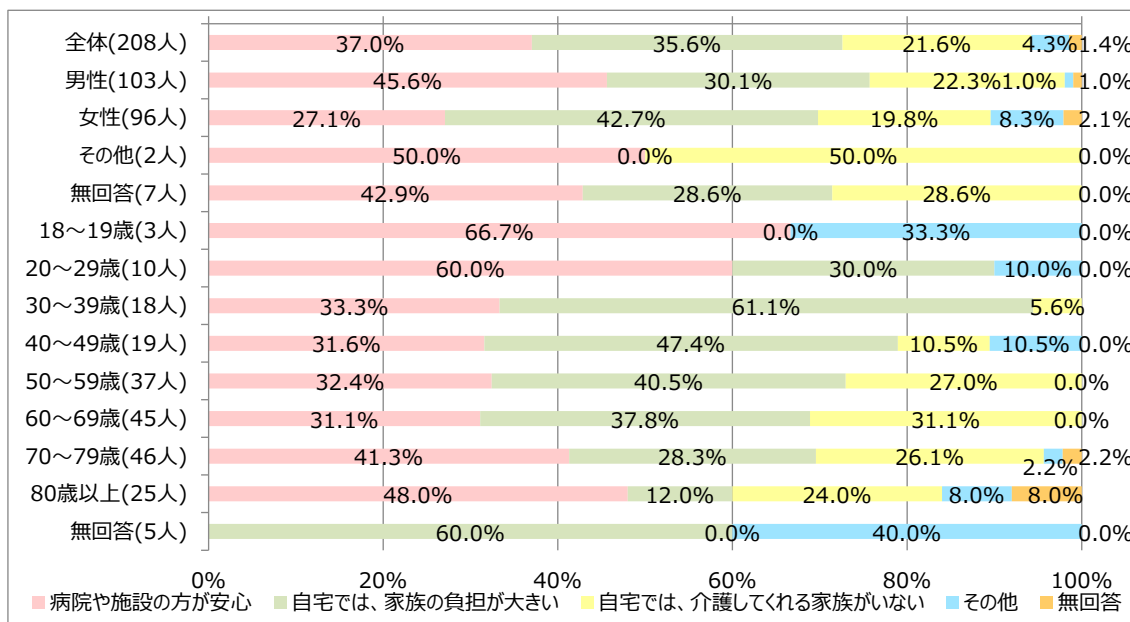
10-5. 医療と介護が同時に必要な時に自宅以外で暮らしたい理由

<b>問 28-2</b>	問28で「2」「3」「4」と答えた方にお聞きします。 なぜ、自宅以外の場所で暮らしたいと思いますか？（✓は1つだけ）	単一回答
---------------	---	------

	項目	回答数
1	病院や施設の方が安心	77
2	自宅では、家族の負担が大きい	74
3	自宅では、介護してくれる家族がない	45
4	その他	9
5	無回答	3
合計		208



※対象回答者…問 28 で「2」「3」「4」と答えた回答者の回答



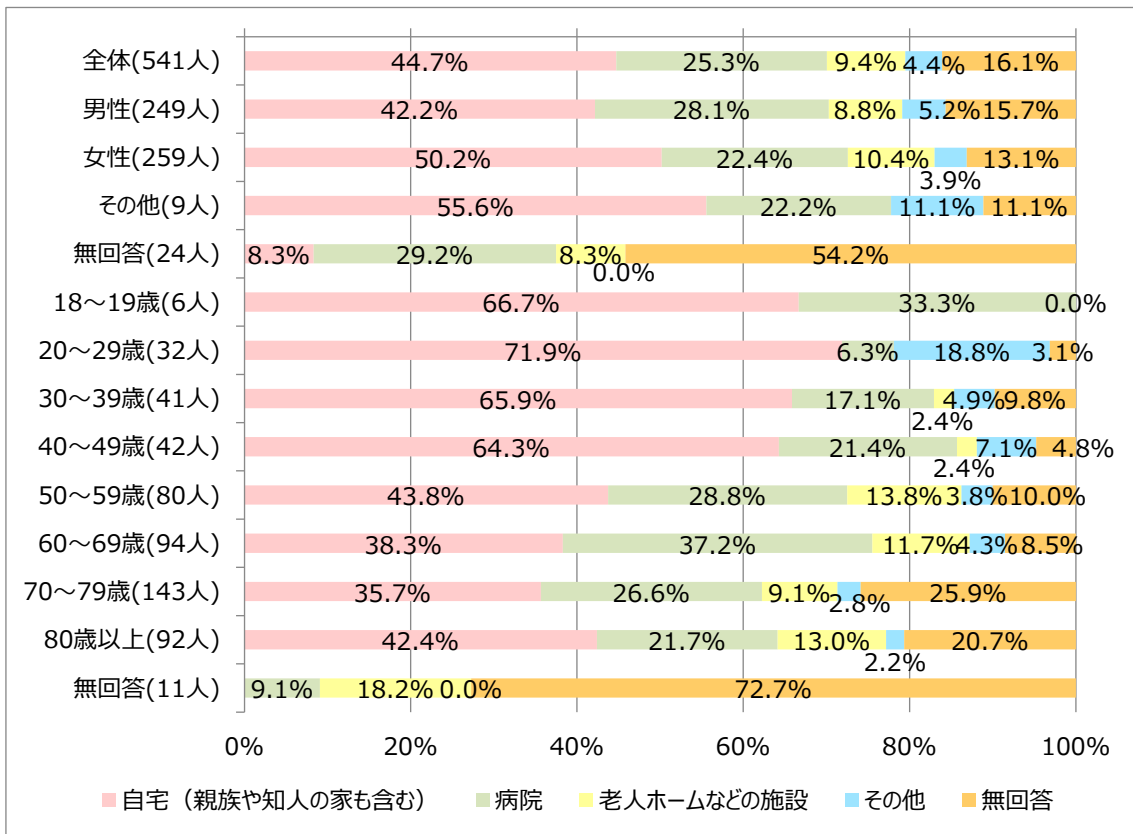
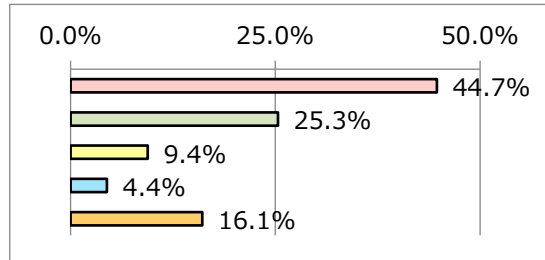
全体では「病院や施設の方が安心」が最も多く37.0%、次いで「自宅では、家族の負担が大きい」が35.6%である。

男女別では、男性は「病院や施設のほうが安心」45.6%が最も高く、女性は「自宅では、家族の負担が大きい」42.7%と最も高くなった。「自宅では、介護してくれる家族がない」は男性 22.3%女性 19.8%で男女共に最も低かった。

10-6. 最期の時を迎える時に暮らしたい場所

<b>問 29</b>	あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか？	単一回答
-------------	--	------

	項目	回答数
1	自宅（親族や知人の家も含む）	242
2	病院	137
3	老人ホームなどの施設	51
4	その他	24
5	無回答	87
合計		541



全体では「自宅（親族や知人の家も含む）」が最も多く44.7%、次に「病院」が多く25.3%である。「老人ホームなどの施設」は9.4%となった。

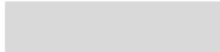
男女別では、「自宅（親族や知人の家も含む）」は男性が42.2%、女性が50.2%と共に最も高く、次いで「病院」が男性28.1%、女性22.4%である。

年代別では、「自宅」の割合が最も高いのは20代で71.9%、最も低いのは70代で35.7%である。

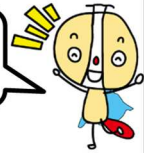
「その他」の回答には、「家族に迷惑がかからない所」、「こだわりはない」などがある。

### 第3章 参考資料

1. 西成区民意識調査（区民アンケート）についてのお願い
2. 令和6年度西成区民アンケート(区民意識調査) 本紙



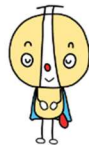
にしなりくみん くみんいしきちょうさ きょうりょく  
西成区民アンケート(区民意識調査)にぜひご協力ください



ひごころから、にしなりくせい きょうりょく  
白ごころから、西成区政にご協力をいただきましてありがとうございます。

このアンケートは、にしなりくやくしよとくじ組んでいる事業などについて、くみんのみなさまのいけんやかんがえ  
をお聞きし、今後のまちづくり施策や事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。

※右上にある「回答用紙管理番号」は集計等を匿名で行うために用意させていただいたものです。



アンケートの回答所要時間は3分～5分ほどです。  
ご多忙とは存じますが、ぜひ協力をよろしく願っています。

しめきり  
【アンケートについて】(アンケート締切:令和6年12月19日(木))

- ① 住民基本台帳から無作為に抽出した1,500名の方を対象にしています。
- ② アンケートは、「ネット回答」または「郵送回答」でご回答いただけます。
- ③ アンケートに記入された情報は、目的以外に利用することはありません。  
※調査結果は、西成区ホームページで公表します。(令和7年3月予定)  
※調査結果から、個人が特定されることはありません。

かいとうほうほう  
【回答方法】

「ネット回答」または「郵送回答」どちらか1つの方法でご回答ください。

かいとう  
ネット回答

回答時に、「回答用紙管理番号( )」の入力が必要です。

大阪市行政オンラインシステムよりご回答ください。

Web検索(「大阪市行政オンラインシステム」→「申請できる手続き一覧(個人向け手続き)」→  
「【キーワード検索】令和6年度 西成区民アンケート」)

ゆうそうかいとう  
郵送回答

アンケート調査票に記入し、令和6年12月19日(木)までに同封の返信用封筒に入れ、切手  
を貼らずに投函してください。

※西成区オリジナルボールペンを同封しておりますのでぜひご利用ください。

くみんアンケートについてのお問い合わせ先

にしなりくやくしよ そうむか  
西成区役所 総務課 06-6659-9683

質問ごとに該当する答えを選び、□に✓を入れてください。

「その他」( ) については、かつこ内に具体的な内容を記入してください。

◆広報・魅力発信について

問1 あなたは普段、区役所の情報をどこから入手しますか？(✓はいくつでも)

- 1. 広報紙
- 2. 区ホームページ
- 3. SNS (フェイスブック・ツイッター・インスタグラムなど)
- 4. チラシ・ポスター
- 5. 暮らしの便利帳
- 6. 町会の回覧
- 7. テレビ
- 8. 家族・友人
- 9. 興味・関心がない
- 10. 入手方法がわからない



問2 西成区には、神社やお寺、旧跡、芸術文化に関する施設など、歴史的・文化的な名所がたくさんありますが、あなたはどの程度知っていますか？

また、あなたが区内でおススメする場所・ものがあれば教えてください。

- 1. たくさん知っている
- 2. いくつか知っている
- 3. 知らない

★おススメの場所・もの( )

問3 あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか？

また、理由があれば、理由もご記入をお願いします。

- 1. 良い (理由: )
- 2. どちらかといえば良い (理由: )
- 3. どちらかといえば悪い (理由: )
- 4. 悪い (理由: )

◆地域活動について

問4 あなたは、身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進んでいると思いますか？

また、理由があれば、理由もご記入をお願いします。

- 1. 思う (理由: )
- 2. どちらかといえば思う (理由: )
- 3. どちらかといえば思わない (理由: )
- 4. 思わない (理由: )

問5 あなたは、地域のまちづくりに関する活動が、地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると思いますか？

- 1. 思う
- 2. どちらかといえば思う
- 3. どちらかといえば思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

問6 あなたは、お住まいの地域で行われる催しもの、事業などの地域活動に関心がありますか？

- 1. ある
- 2. どちらかといえばある
- 3. どちらかといえばない
- 4. ない



◆防犯・防災について

問7 あなたは、西成区は安全安心なまちと感じますか？

また、理由があれば、理由もご記入をお願いします。

- 1. 感じる (理由: )
- 2. どちらかといえば感じる (理由: )
- 3. どちらかといえば感じない (理由: )
- 4. 感じない (理由: )

問8 あなたは、備蓄や避難所の確認など、災害に対する備えを行っていますか？

- 1. 行っている
- 2. 少し行っている
- 3. 行っていない



次は右上の問9に進んでください





◆福祉について

問 12 障がいのある人もない人も、お互いに、そのらしさを認め合いながら、共に生きる社会をめざして、障害者差別解消法（※）が、平成 28 年 4 月 1 日から施行されました。あなたは、この法律を知っていますか？

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはある（内容は知らない）
- 3. 知らない

（※）正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。

◆人権・生涯学習について

問 13 あなたは、人権について関心がありますか？

- 1. ある
- 2. どちらかといえばある
- 3. どちらかといえばない
- 4. ない

問 14 あなたは、西成区が一人ひとりの人権が尊重されているまちであると思いますか？

- 1. 思う
- 2. どちらかといえば思う
- 3. どちらかといえば思わない
- 4. 思わない



問 15 区内の生涯学習事業のうち、あなたが知っているものはありますか？（✓はいくつでも）

- 1. 生涯学習ルーム事業  
（小学校を拠点として、趣味・教養に関する講座の開催）
- 2. はぐみネット事業  
（小学校を拠点として、はぐみネット情報誌の発行など）
- 3. 学校体育施設開放事業  
（小・中学校をスポーツ活動の場として提供）
- 4. 生涯学習フェスティバル  
（生涯学習ルームや関連施設が活動成果を発表する場）
- 5. いずれも知らない

◆西成特区構想について

問 16 あなたは、西成特区構想（※）が実施されてから、西成区は良くなったと思いますか？

- 1. 思う
- 2. どちらかといえば思う
- 3. どちらかといえば思わない
- 4. 思わない
- 5. 西成特区構想を知らない

（※）西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えていますが、それらを解決するために、平成 25 年（2013 年）度から特に有効な施策を検討し実施・推進しています。

問 17 特区構想実施以前（平成 24 年以前）と比べて、どう変わったと思いますか？

※下記の 7 項目について、該当する箇所に✓を記入してください。（✓は各項目 1 つずつ）	良くなった	少し良くなった	どちらでもない	少し悪くなった	悪くなった
01. 子育ての環境					
02. ごみの不法投棄問題・まちの美化					
03. 迷惑駐輪					
04. 公園の環境・利用しやすさ					
05. 西成区のイメージ					
06. 防犯・犯罪抑止等					
07. 結核対策（医療と福祉の連携）					

次は右上の問 18 に進んでください







問28 もしもあなたが、がんや慢性の病気などで医療と介護が同時に必要になった場合、どこで暮らしたいと思いますか？

1. 自宅（親族や知人の家も含む）

2. 病院 3. 老人ホームなどの施設 4. その他（ ）

問28-1 問28で「1」と答えた方にお聞きします。  
なぜ、自宅で暮らしたいと思いますか？（✓は1つだけ）

- 1. 住み慣れた場所で過ごしたい
- 2. 自分の好きな事をしながら過ごしたい
- 3. 家族との時間を多く過ごしたい
- 4. 入院、入所先がない
- 5. 病院や施設で過ごすのは経済的に負担が大きい
- 6. その他（ ）

問28-2 問28で「2」「3」「4」と答えた方にお聞きします。

なぜ、自宅以外の場所で暮らしたいと思いますか？（✓は1つだけ）

- 1. 病院や施設の方が安心
- 2. 自宅では、家族の負担が大きい
- 3. 自宅では、介護してくれる家族がない
- 4. その他（ ）

問29へ進んでください

問29 あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか？

1. 自宅（親族や知人の家も含む） 2. 病院 3. 老人ホームなどの施設 4. その他（ ）

#### ◆あなたご自身について

問30 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性 3. その他・回答たくない

問31 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳  
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

問32 あなたのお住まいは？

- 1. Iブロック（北開、中開、南開、出城、長橋、鶴見橋、旭、梅南）
- 2. IIブロック（山王、太子、萩之茶屋、花園北、天下茶屋北）
- 3. IIIブロック（花園南、天下茶屋東、天下茶屋、聖天下、岸里一丁目）
- 4. IVブロック（岸里二・三丁目、天神ノ森、岸里東、玉出東、玉出中、玉出西）
- 5. Vブロック（松、橋、潮路、千本北、千本中、千本南）
- 6. VIブロック（北津守、津守、南津守）

問33 あなたは西成区に何年住んでいますか？

1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上5年未満  
4. 5年以上10年未満 5. 10年以上

問34 あなたは現在、中学生以下のお子様の子育てをしていますか？

1. している（小学校就学前） 2. している（小学生）  
3. している（中学生） 4. していない

ご協力ありがとうございました

お手数をおかけしますが令和6年12月19日（木曜日）までに

この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

